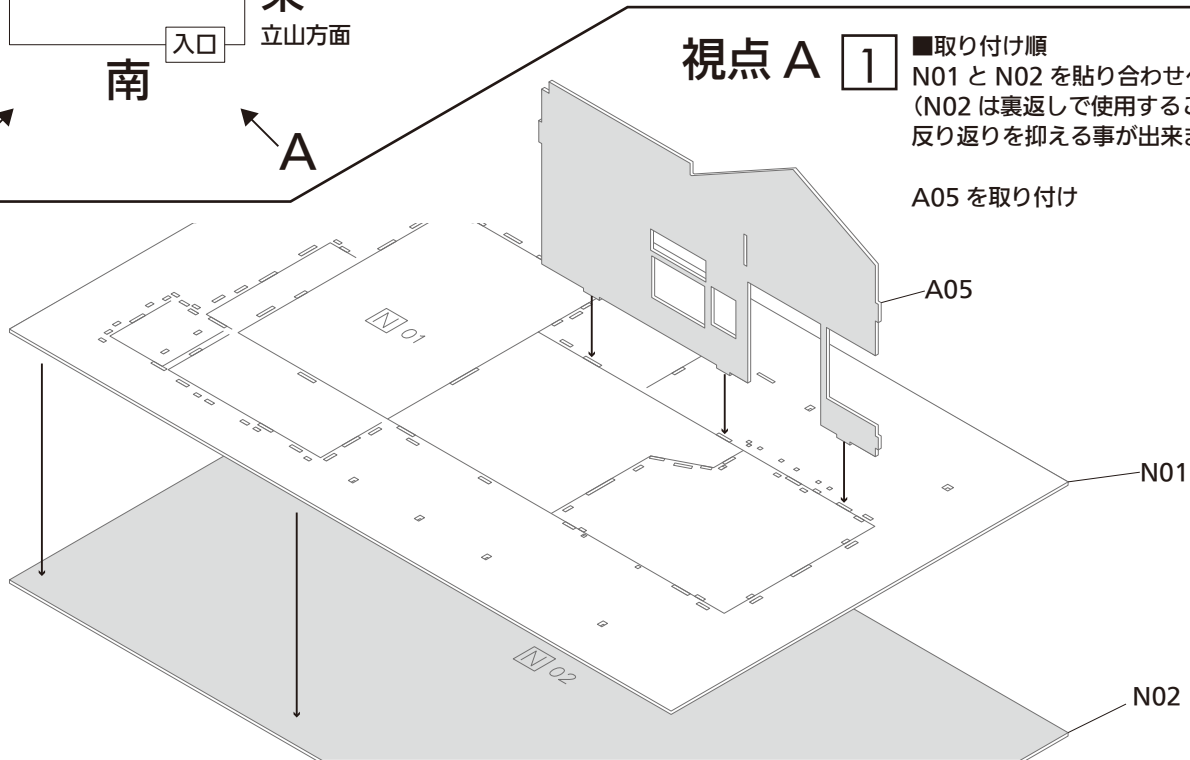


0

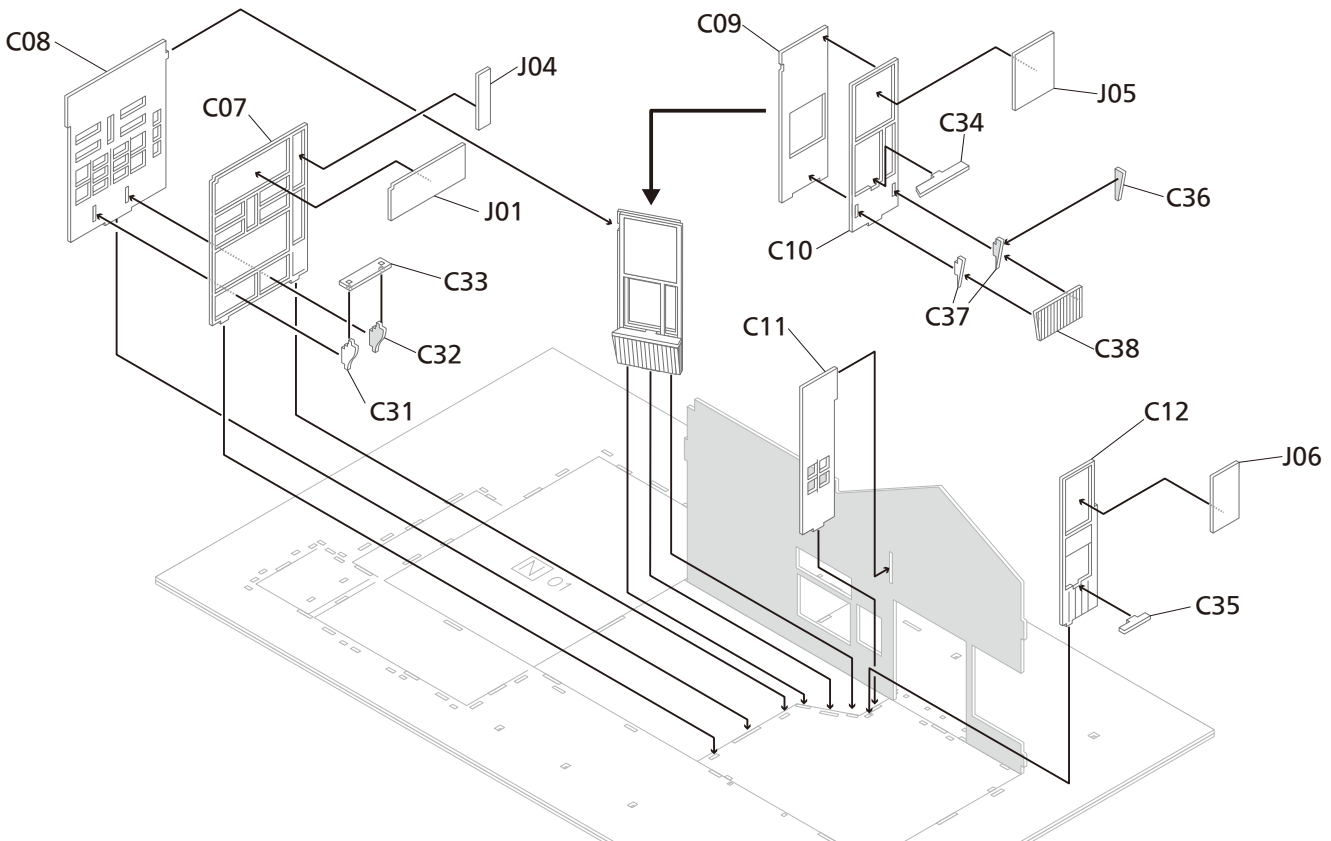
※この建物は形状が複雑なため、組み立て解説図の俯瞰視点が多岐に渡ります。各項目にA、B、C以下視点を表示してありますので、確認しながら組み立てを進めてください。



視点 A 2

■取り付け順
C11→C12→C35→J06
C08+C07→C31→C32→C33→J01→J04
※C09のみを先にベースとC08に取り付け、C10に→C37×2→C34→C36→C38を取り付けた物をベースとC09に取り付け→J05を取り付けます。
C09とC10はオフセットしますので、ベースの取り付け孔を優先にして位置決めしてください。

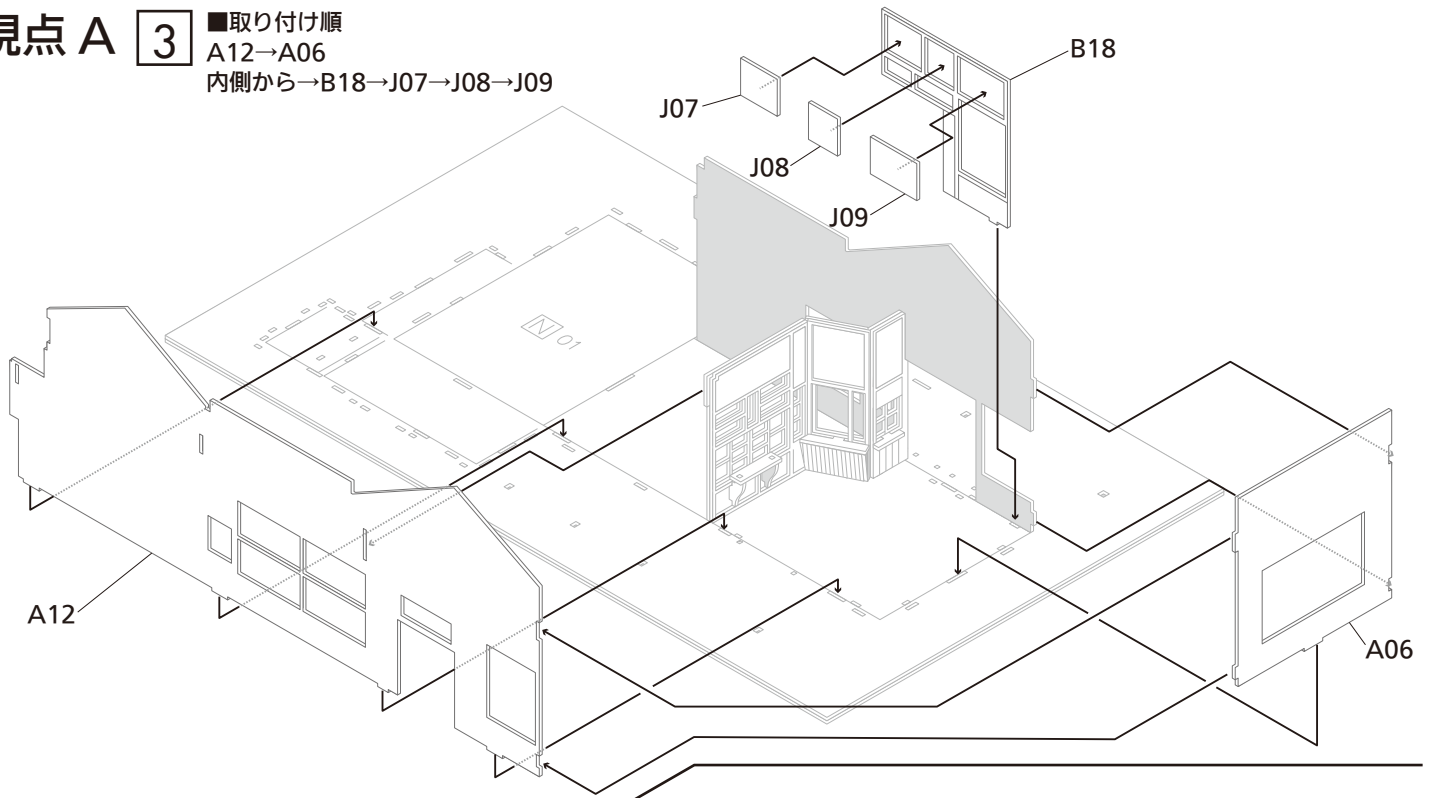
■無人化で窓口が閉鎖された状態とする場合はC08+C07の窓口部分に板(J14)を表側から貼って塞いでください。



視点 A

3

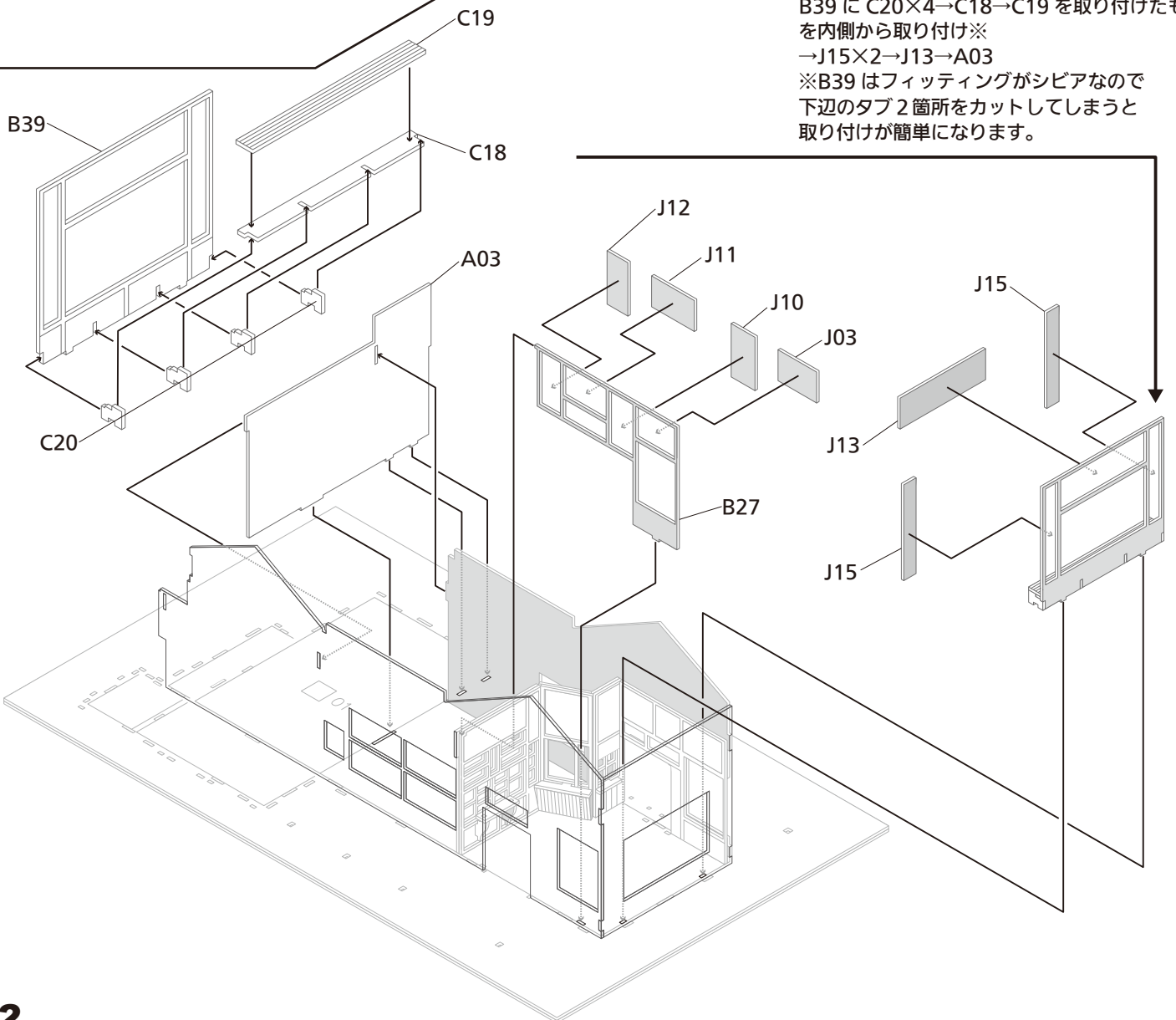
■取り付け順
A12→A06
内側から→B18→J07→J08→J09



視点 A

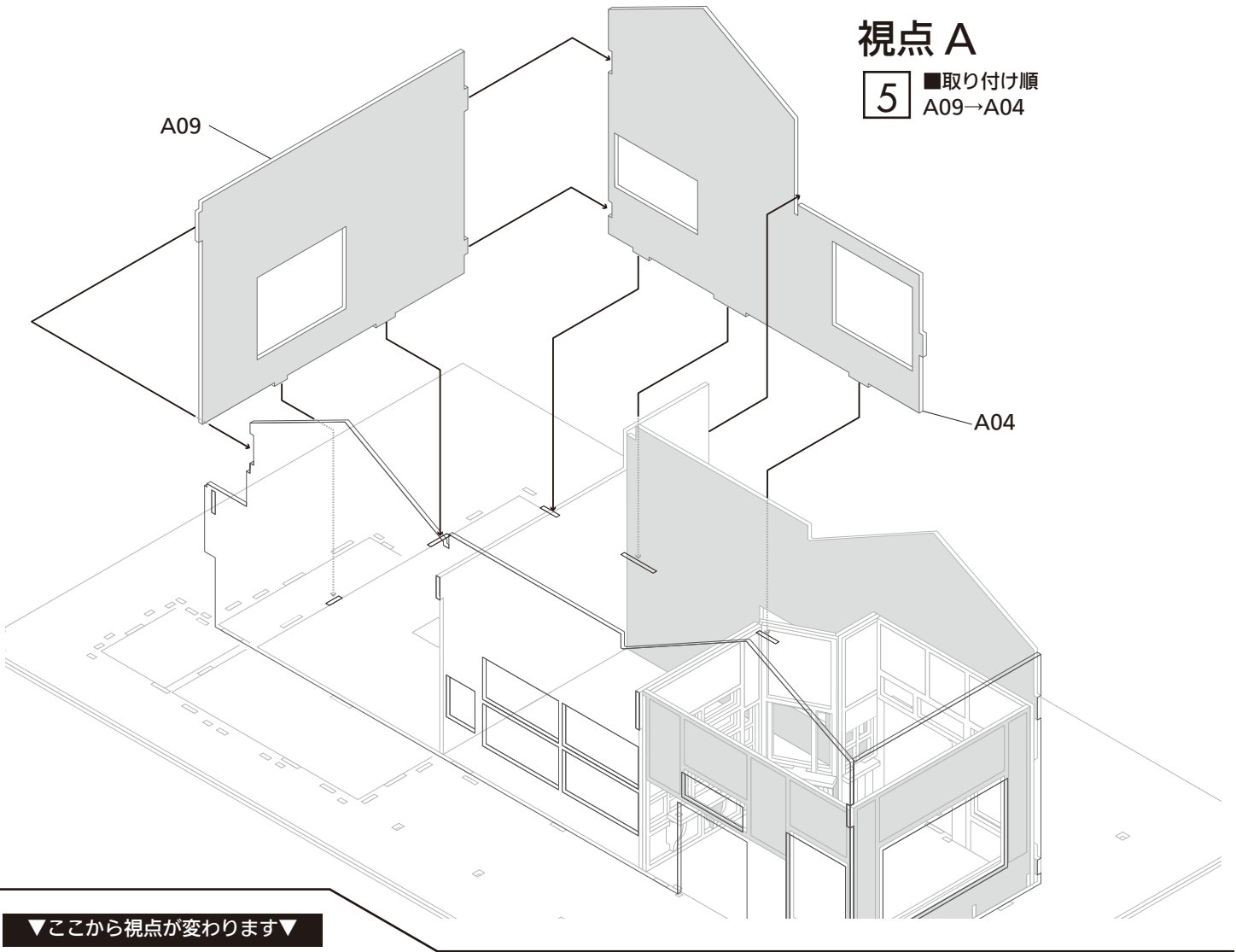
4

■取り付け順
内側から B27→J03→J10→J11→J12
B39 に C20×4→C18→C19 を取り付けられたものを内側から取り付け※
→J15×2→J13→A03
※B39 はフィッティングがシビアなので下辺のタブ2箇所をカットしてしまうと取り付けが簡単になります。

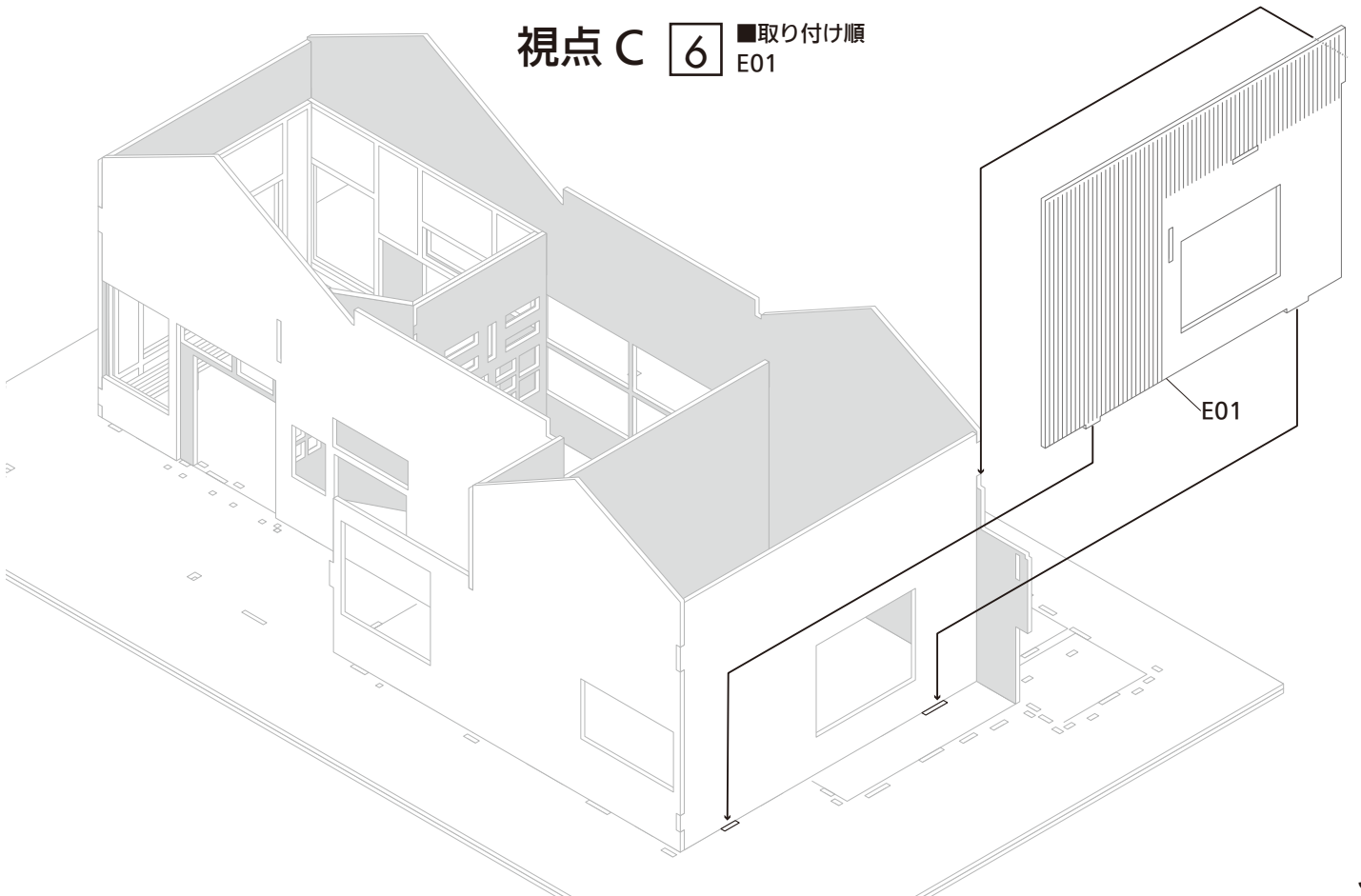


視点 A

5 ■取り付け順
A09→A04



視点 C 6 ■取り付け順 E01

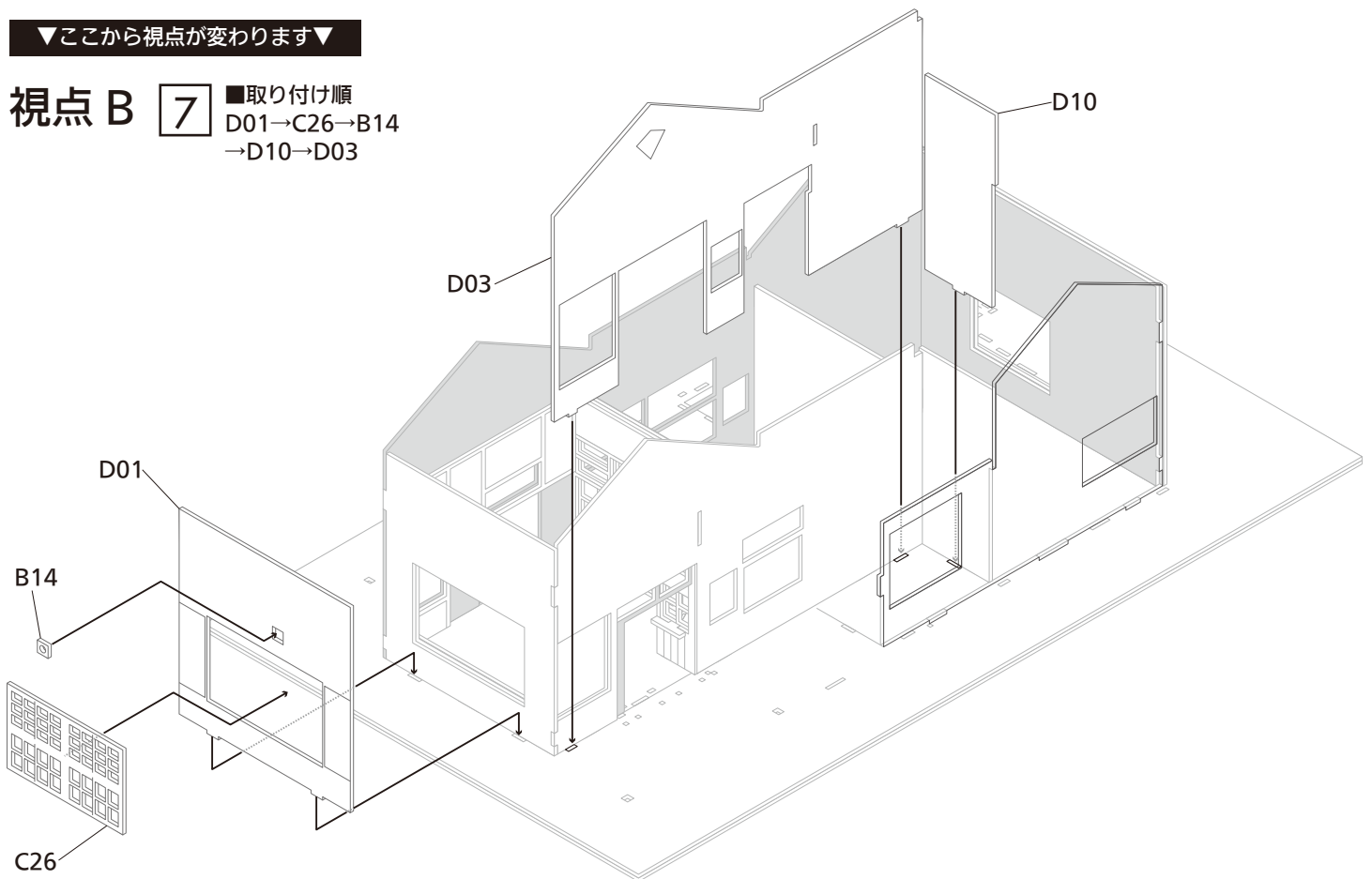


▼ここから視点が変わります▼

視点 B

7

■取り付け順
D01→C26→B14
→D10→D03

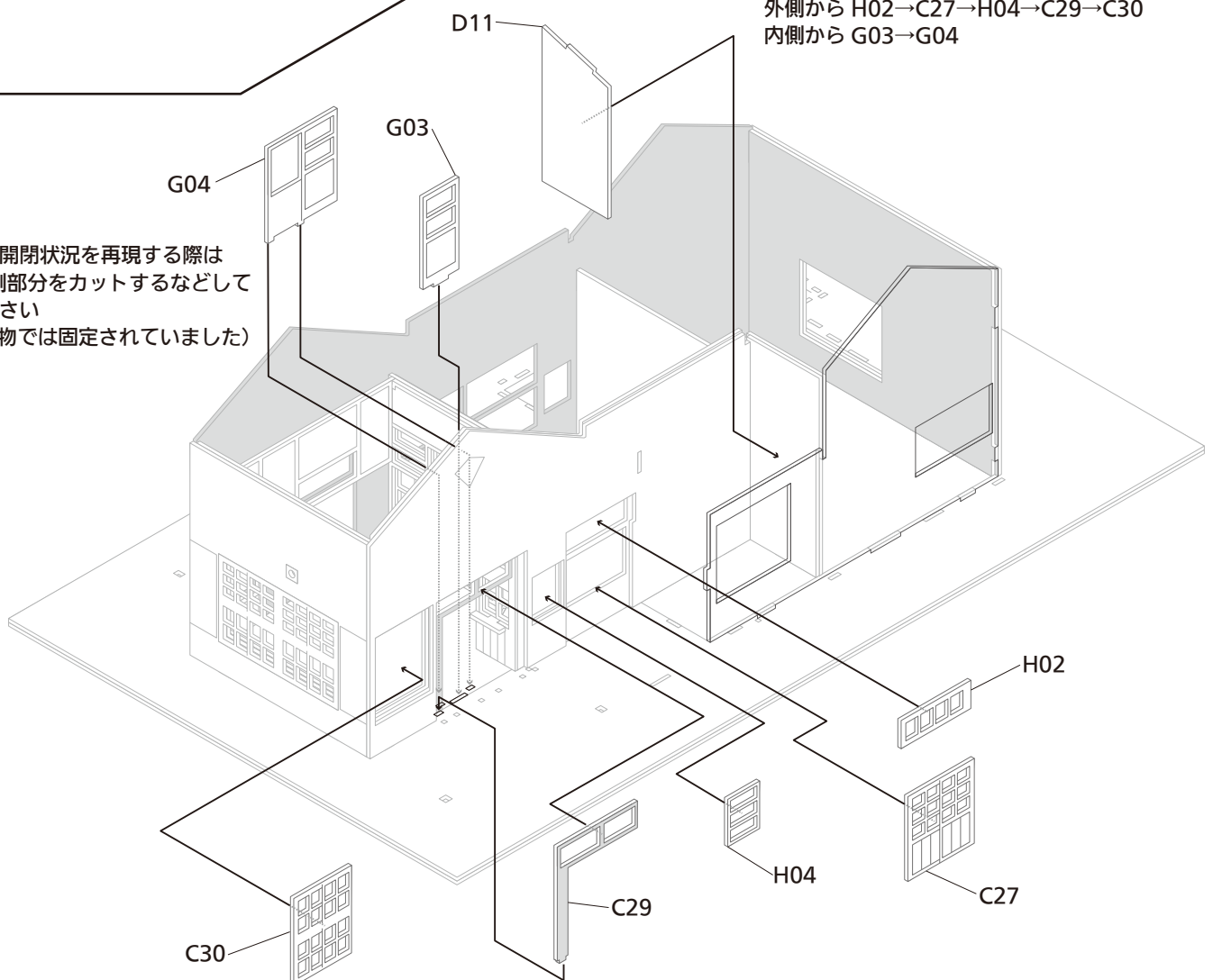


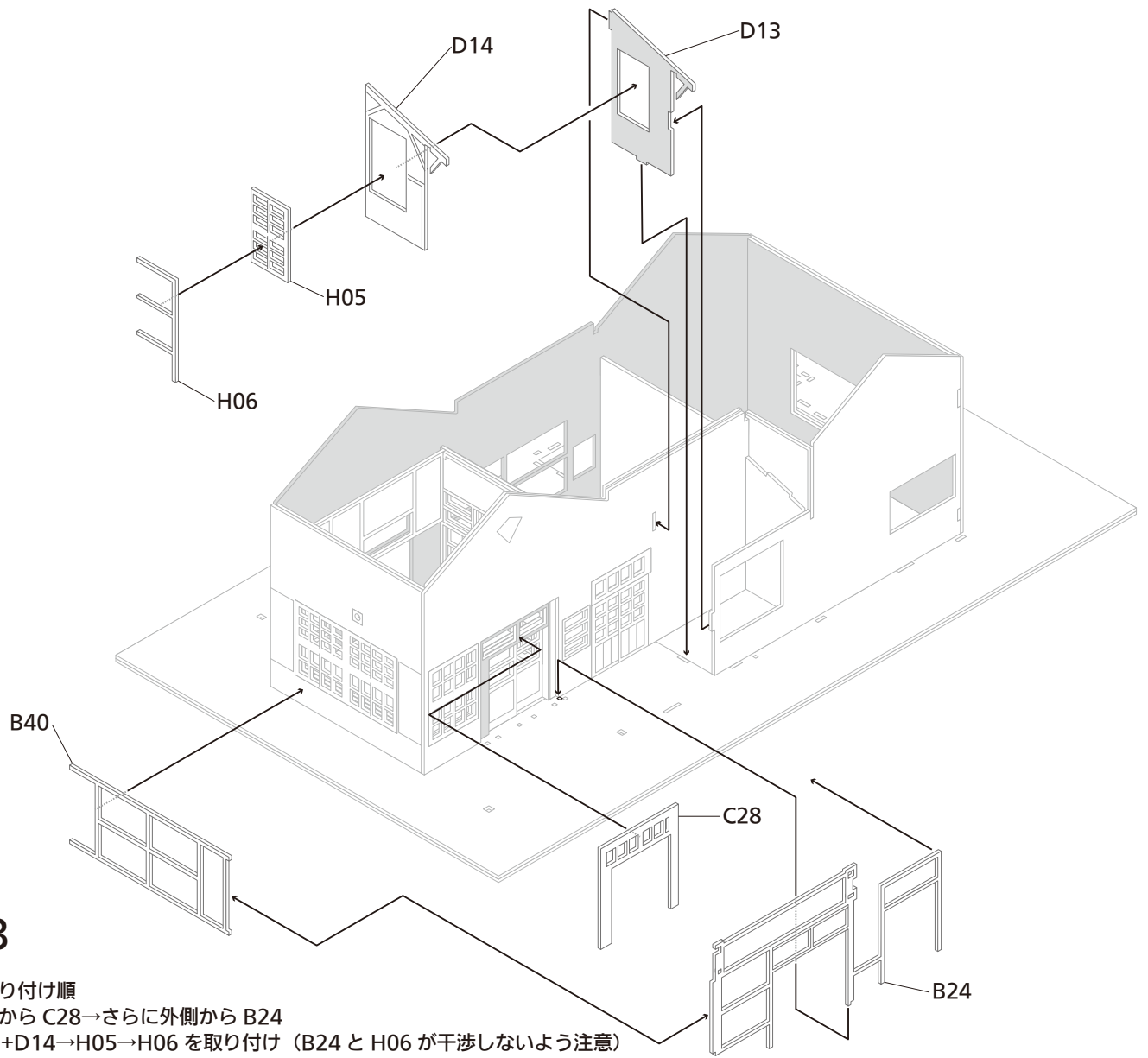
視点 B

8

■取り付け順
D11 (前項 D10 に下辺合わせで貼り付け)
外側から H02→C27→H04→C29→C30
内側から G03→G04

■改札扉の開閉状況を再現する際は
G04 の左側部分をカットするなどして
ご利用ください
(G03 は実物では固定されていました)





視点 B

9

■取り付け順

外側から C28→さらに外側から B24

D13+D14→H05→H06 を取り付け (B24 と H06 が干渉しないよう注意)

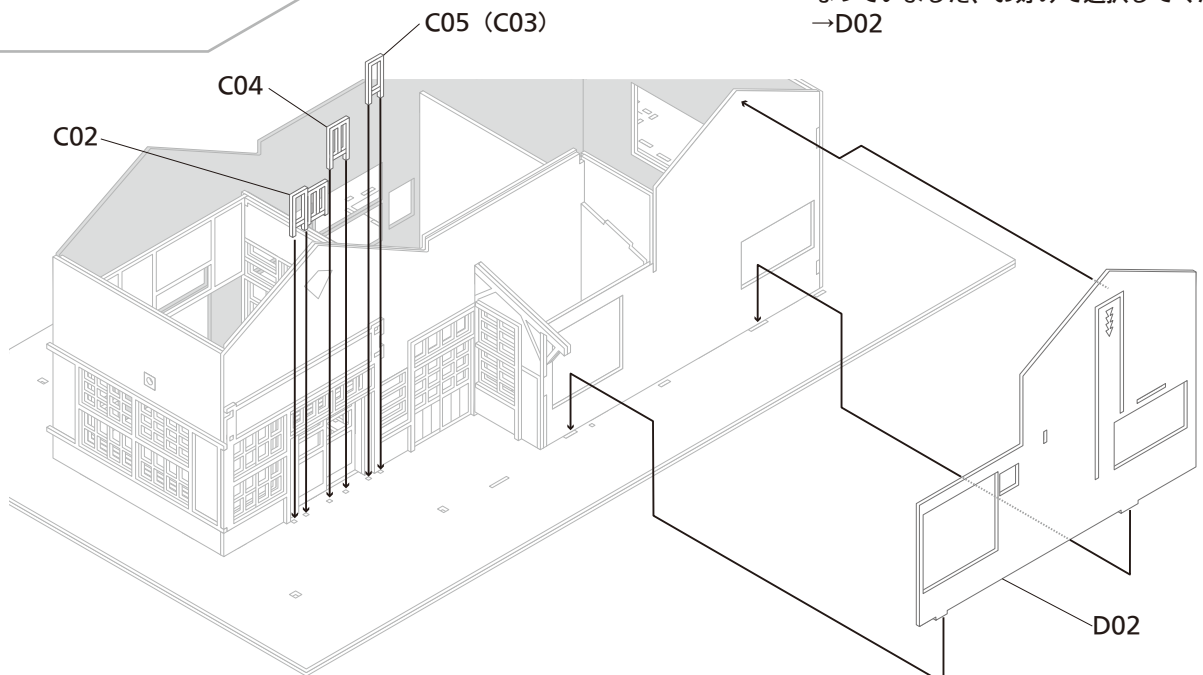
→B40

視点 B 10

■取り付け順

C02→C04→C05 (本来は C03 が用いられて
いましたが後に一部を撤去して C05 の形状と
なっていました、お好みで選択してください)

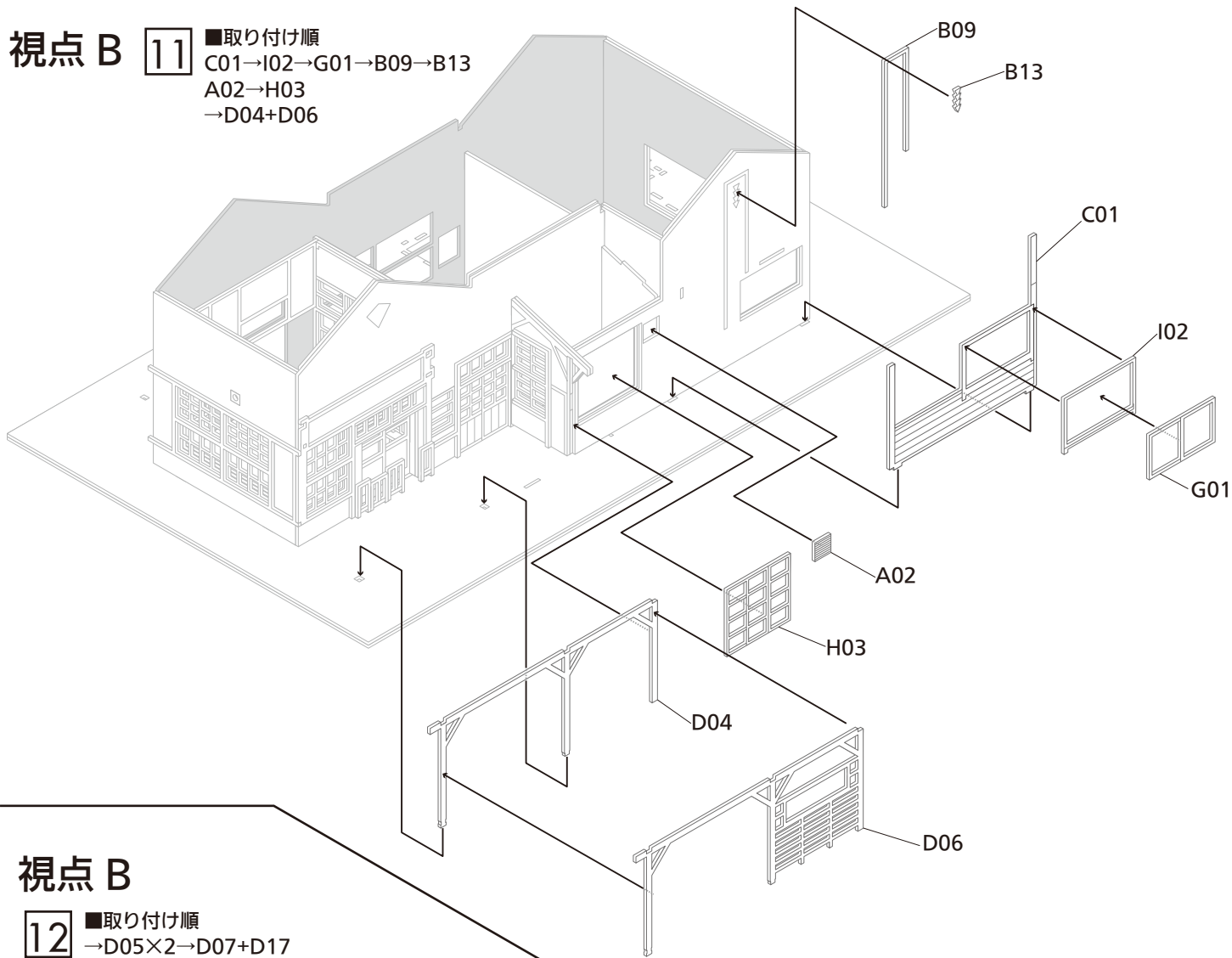
→D02



視点 B

11

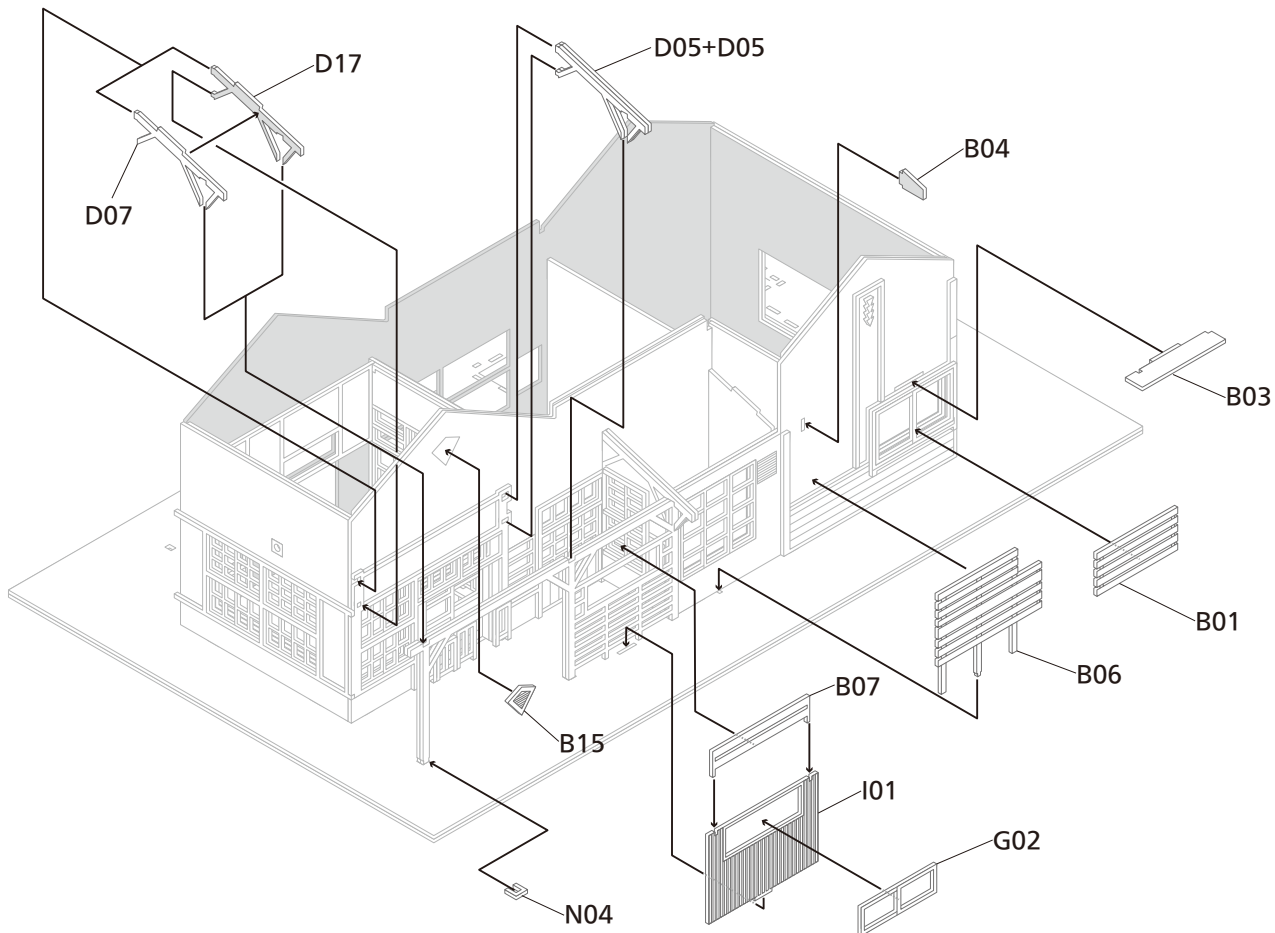
■取り付け順
C01→I02→G01→B09→B13
A02→H03
→D04+D06



視点 B

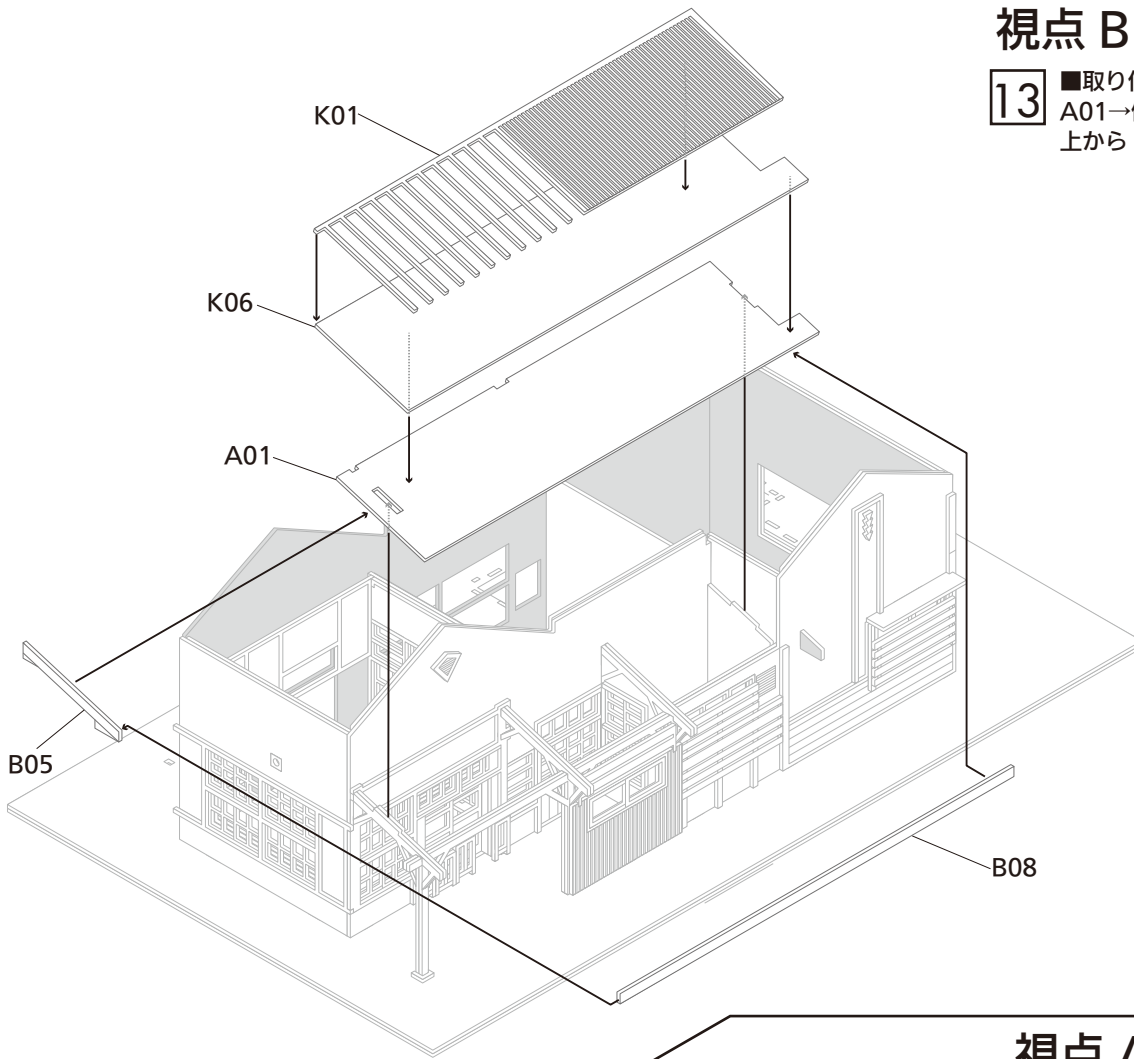
12

■取り付け順
→D05×2→D07+D17
B15→N04→I01→B07→G02
→B06→B01 (下辺合わせ、窓上側に隙間ができるのが正解)→B03→B04



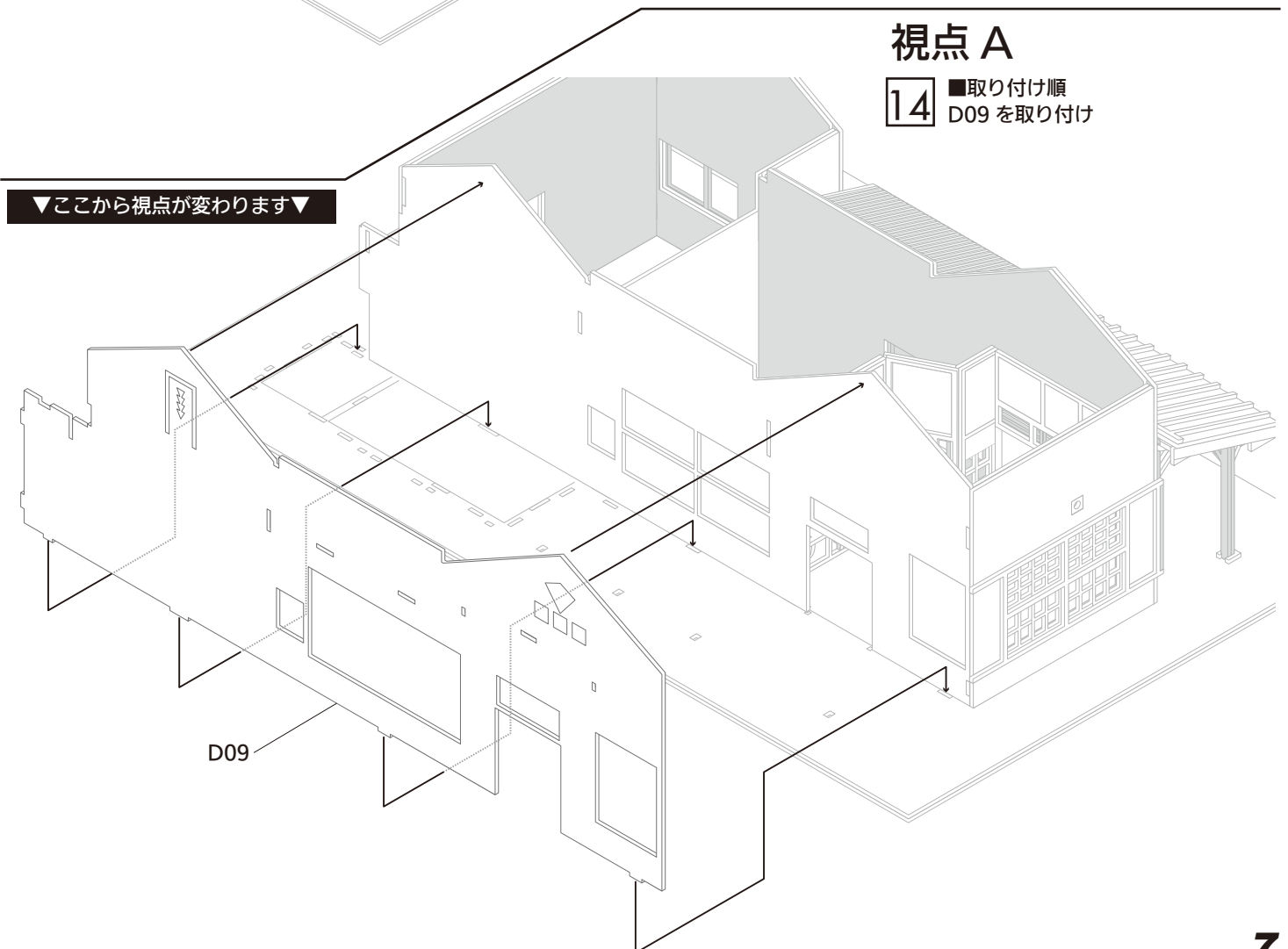
視点 B

13 ■取り付け順
A01→側面に B05→B08
上から K06→K01



視点 A

14 ■取り付け順
D09 を取り付け

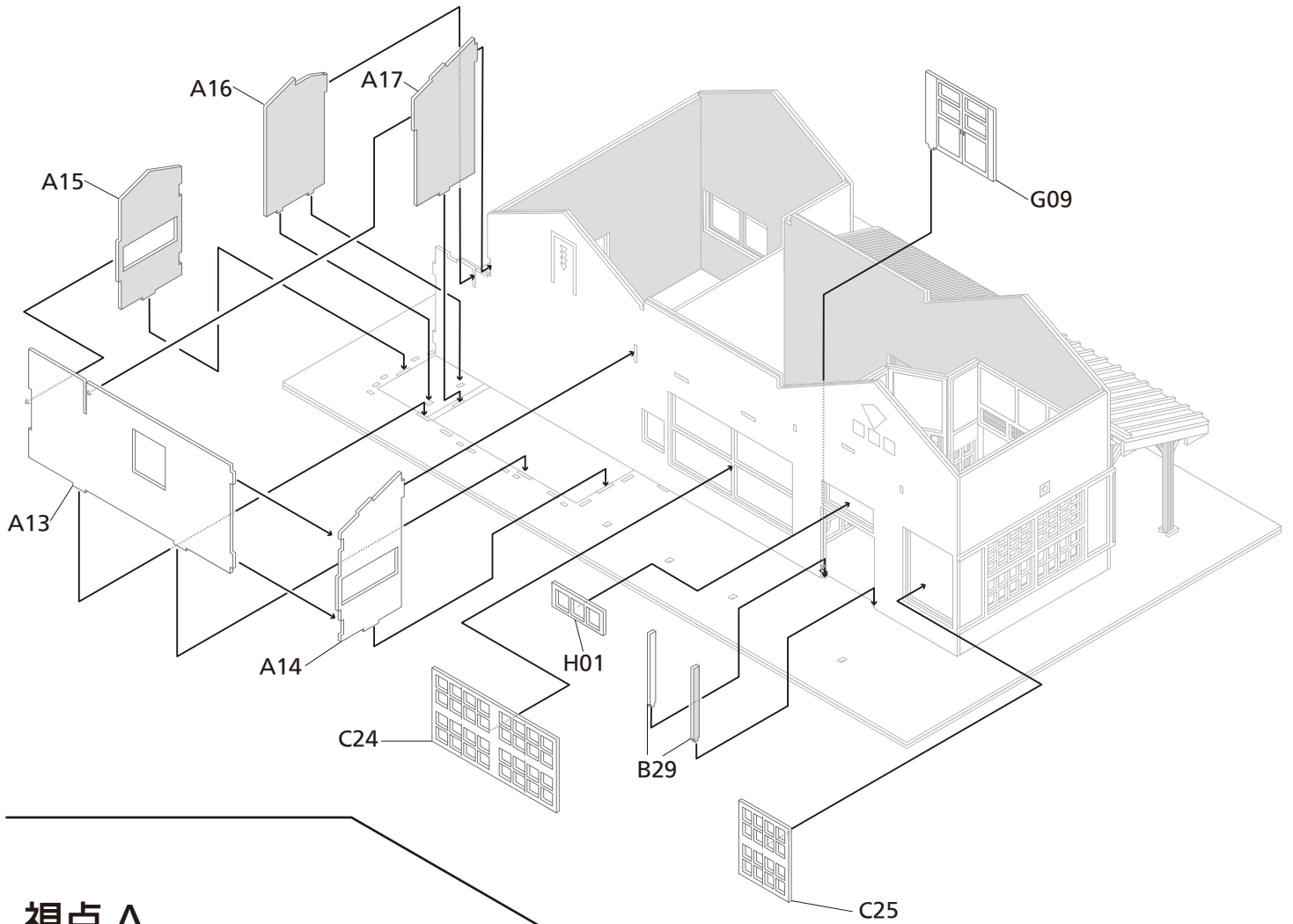


視点 A 15

■取り付け順

C25→B29×2→H01→C24→A14→A17→A16→A15→A13

G09 (開扉状態とするには G09 パーツをカットするなどしてご利用ください)→両開扉



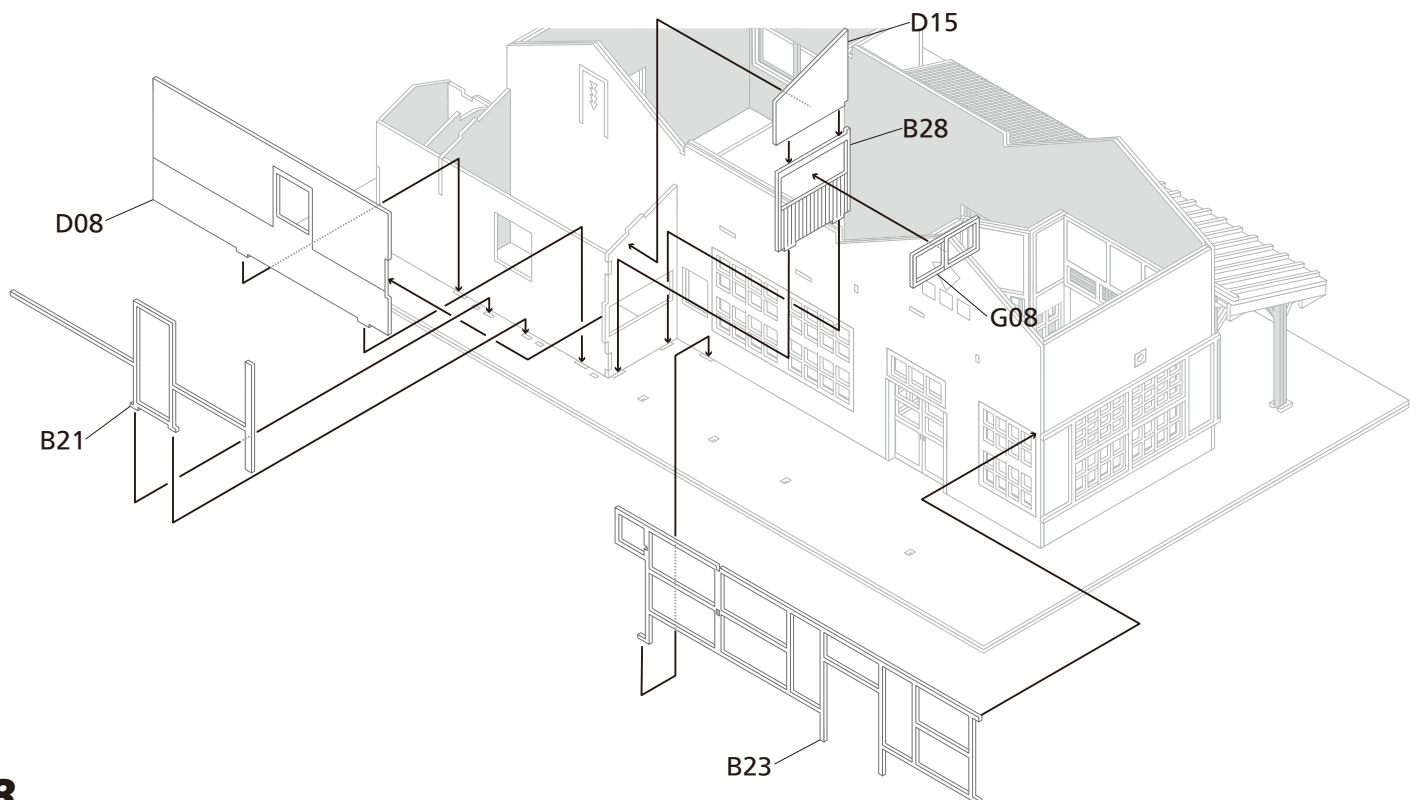
視点 A 16

16

■取り付け順

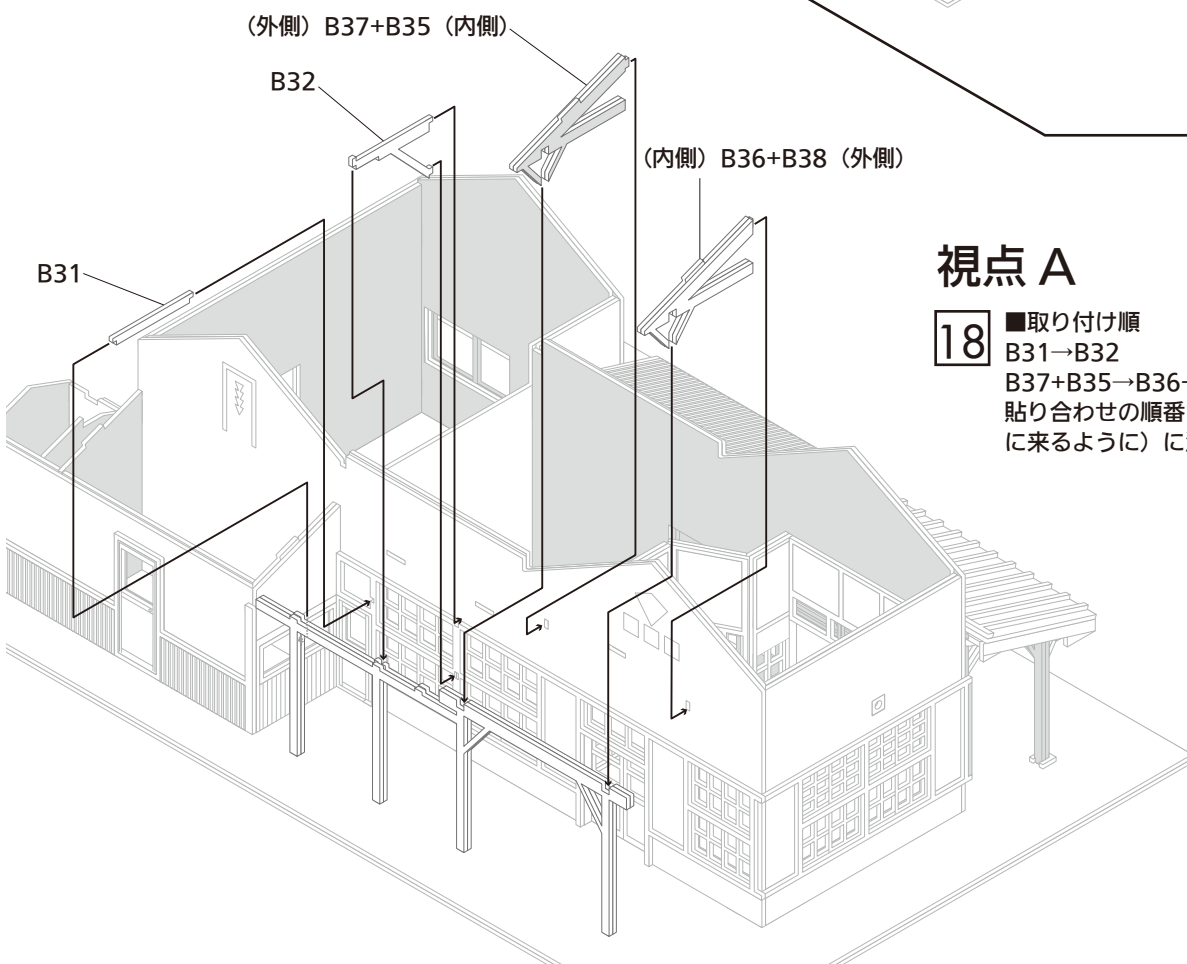
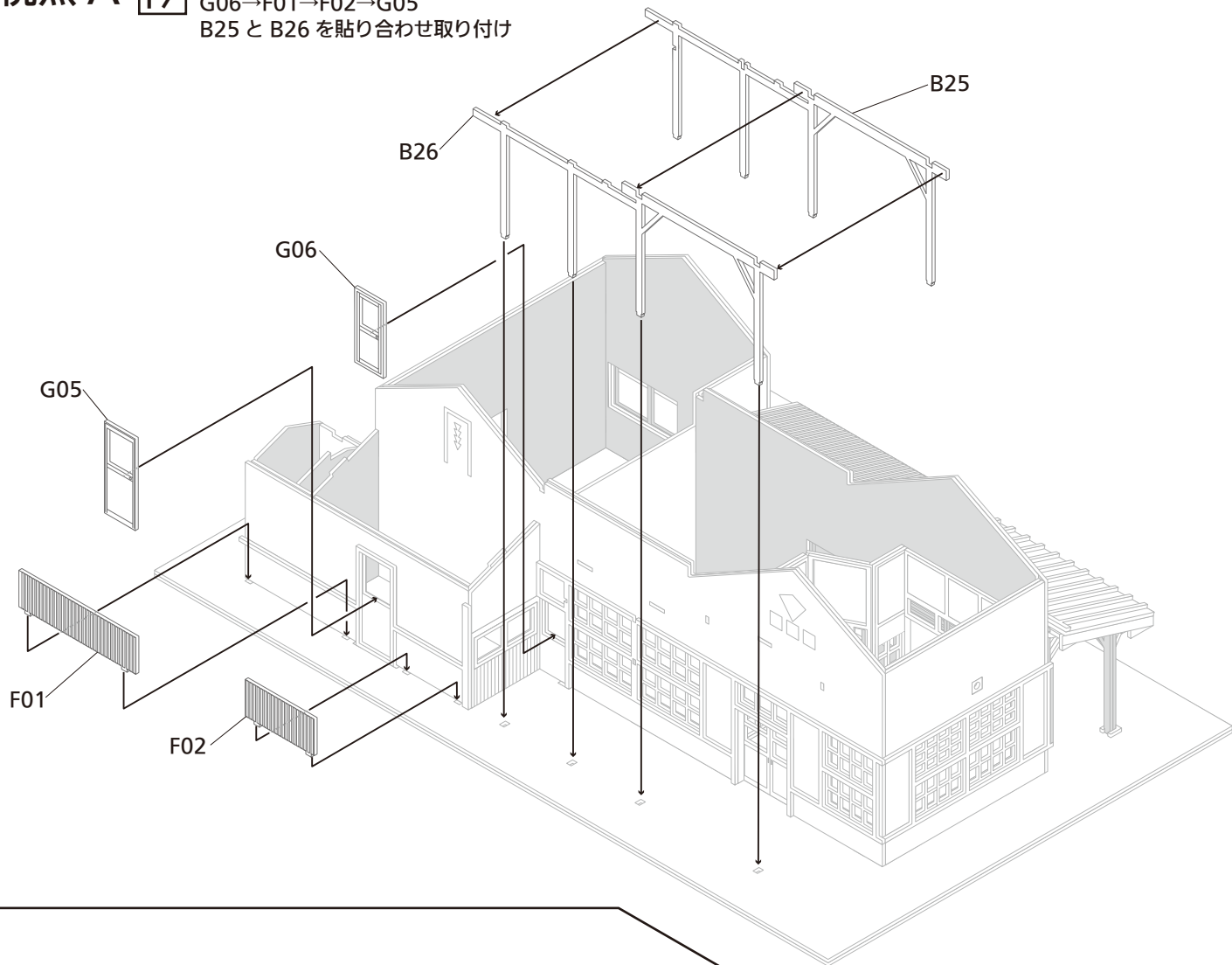
B28→D15→G08

D08→B21→B23



視点 A 17

■取り付け順
 G06→F01→F02→G05
 B25 と B26 を貼り合わせ取り付け



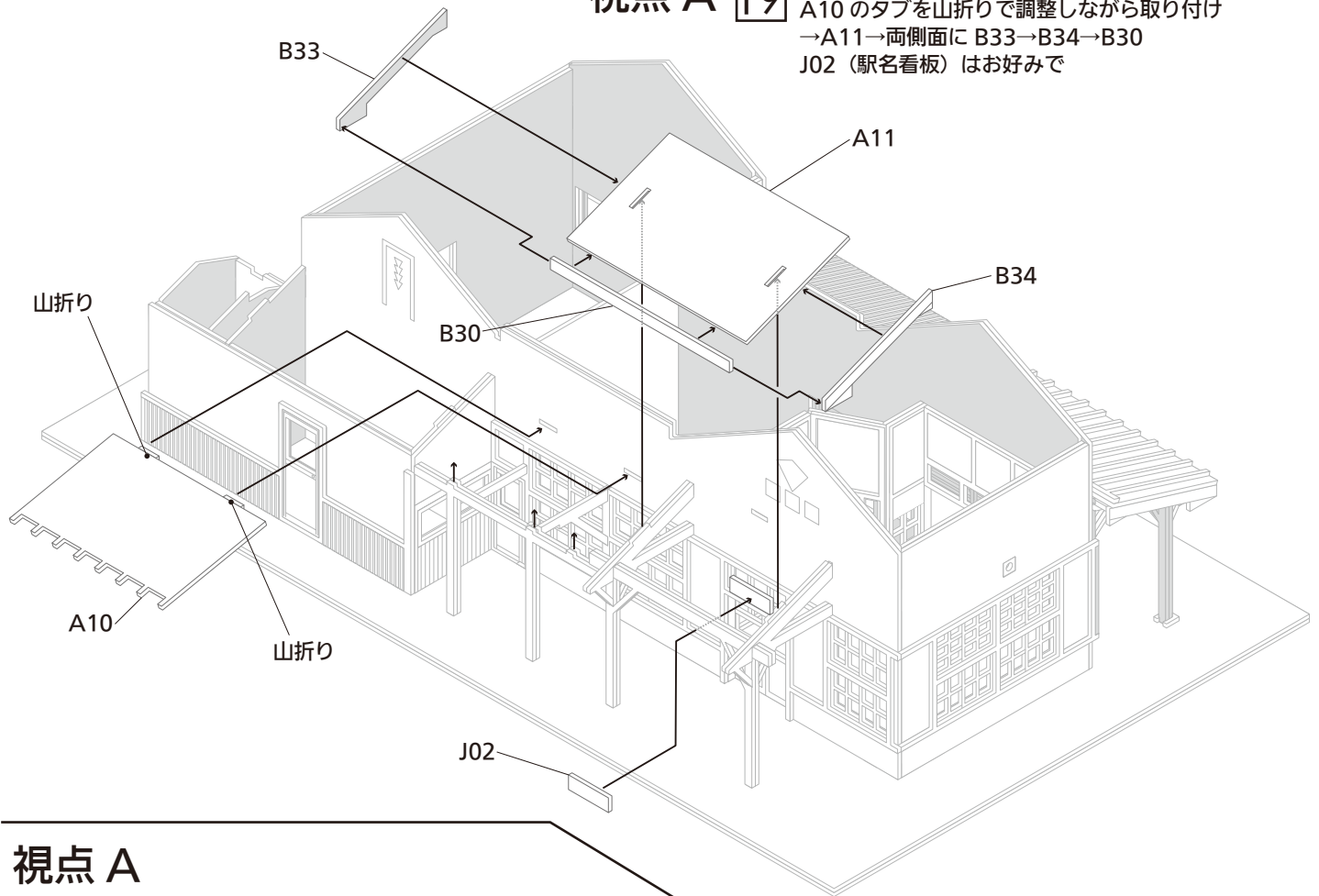
視点 A

18 ■取り付け順
 B31→B32
 B37+B35→B36+B38
 貼り合わせの順番（上タブがそれぞれ内側に来るように）に注意

視点 A 19

■取り付け順

A10 のタブを山折りで調整しながら取り付け
→A11→両側面に B33→B34→B30
J02 (駅名看板) はお好みで



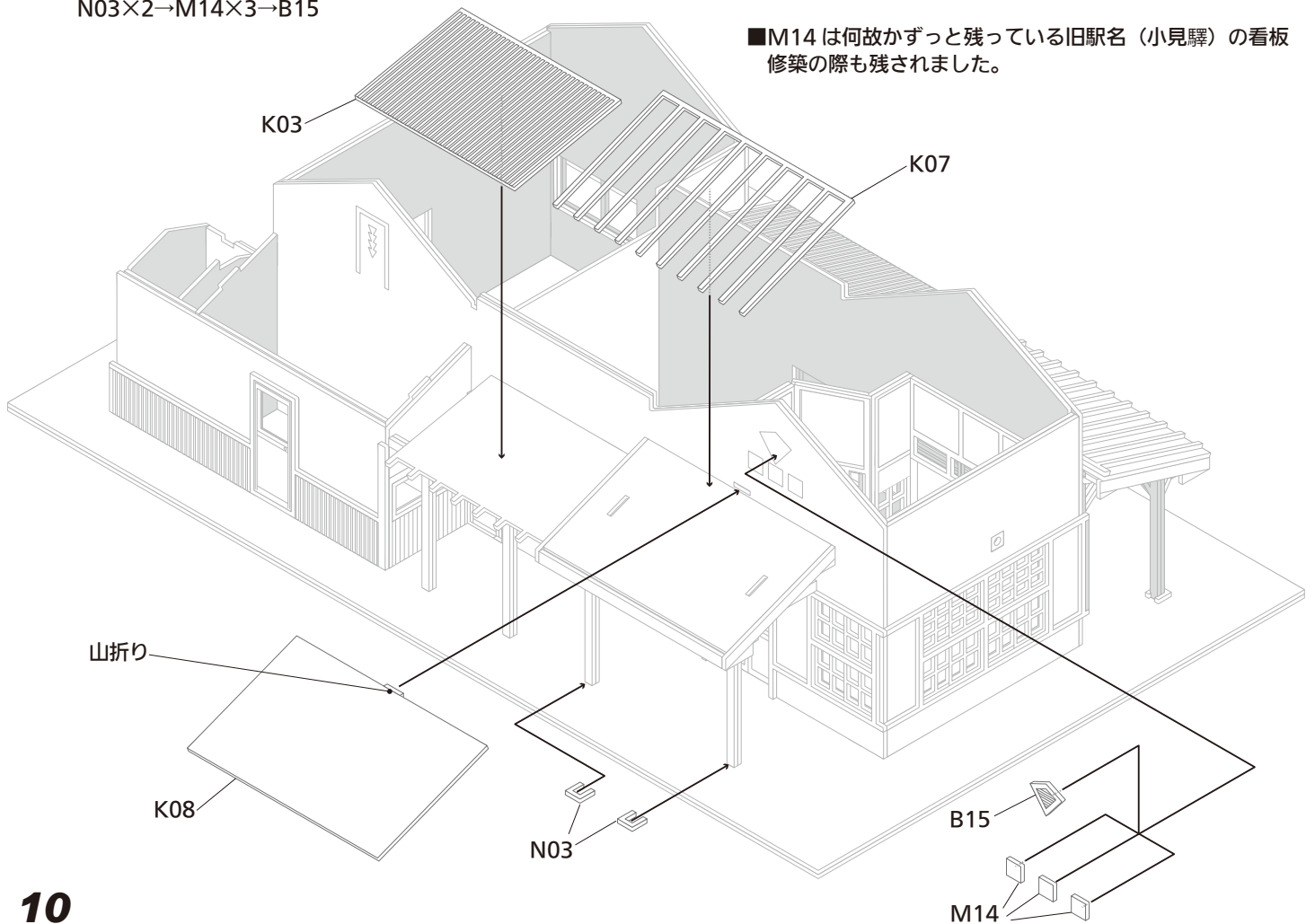
視点 A

20

■取り付け順

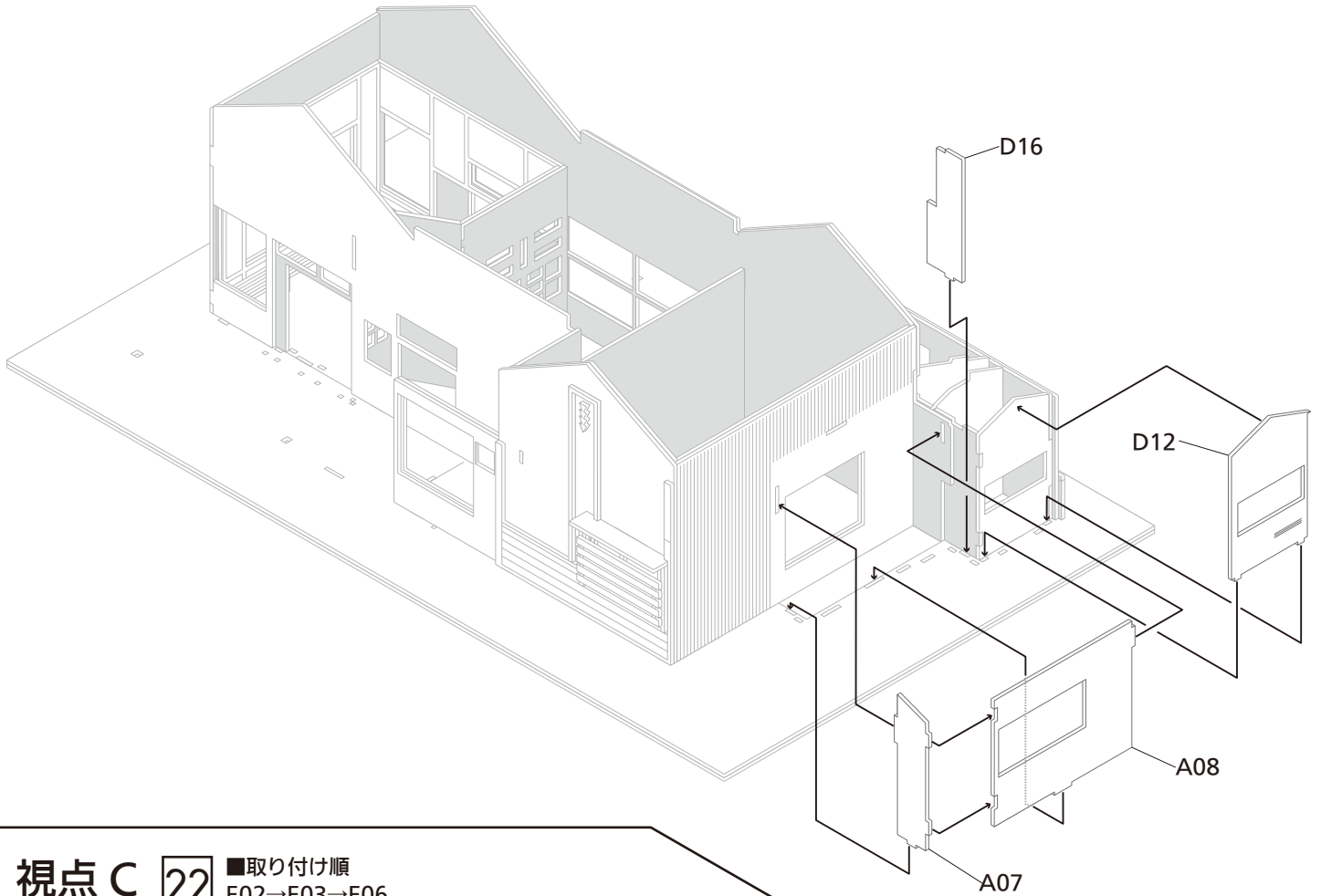
K08 のタブを山折りで調整しながら取り付け→K03→K07
N03×2→M14×3→B15

■M14 は何故かずっと残っている旧駅名 (小見驛) の看板
修築の際も残されました。

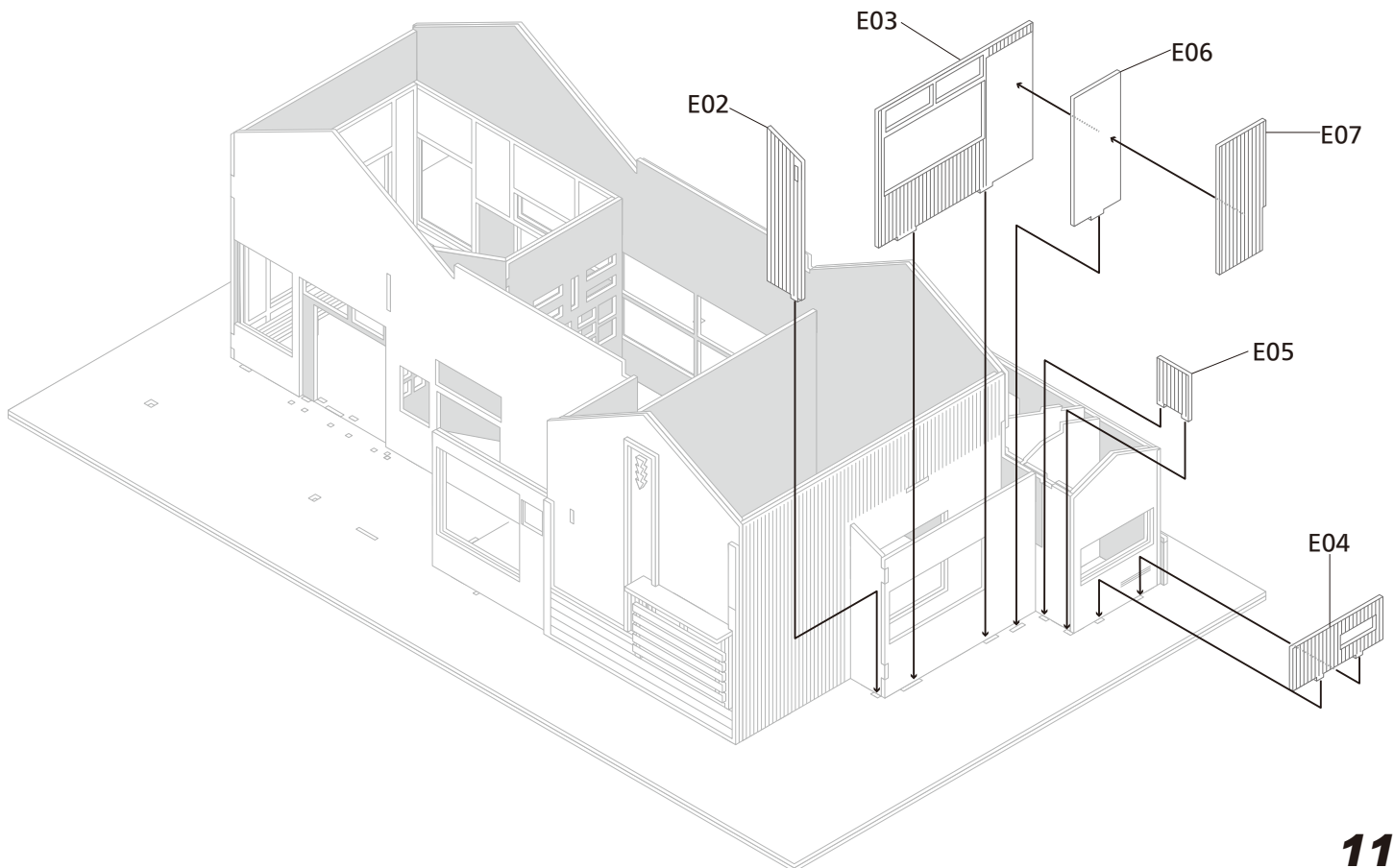


▼ここから視点が変わります▼

視点 C 21 ■取り付け順 D16→A07→A08→D12



視点 C 22 ■取り付け順 E02→E03→E06 E05→E04→E07 E07 を先に取り付けてしまうと E05 を取り付けにくくなるので 順番に注意



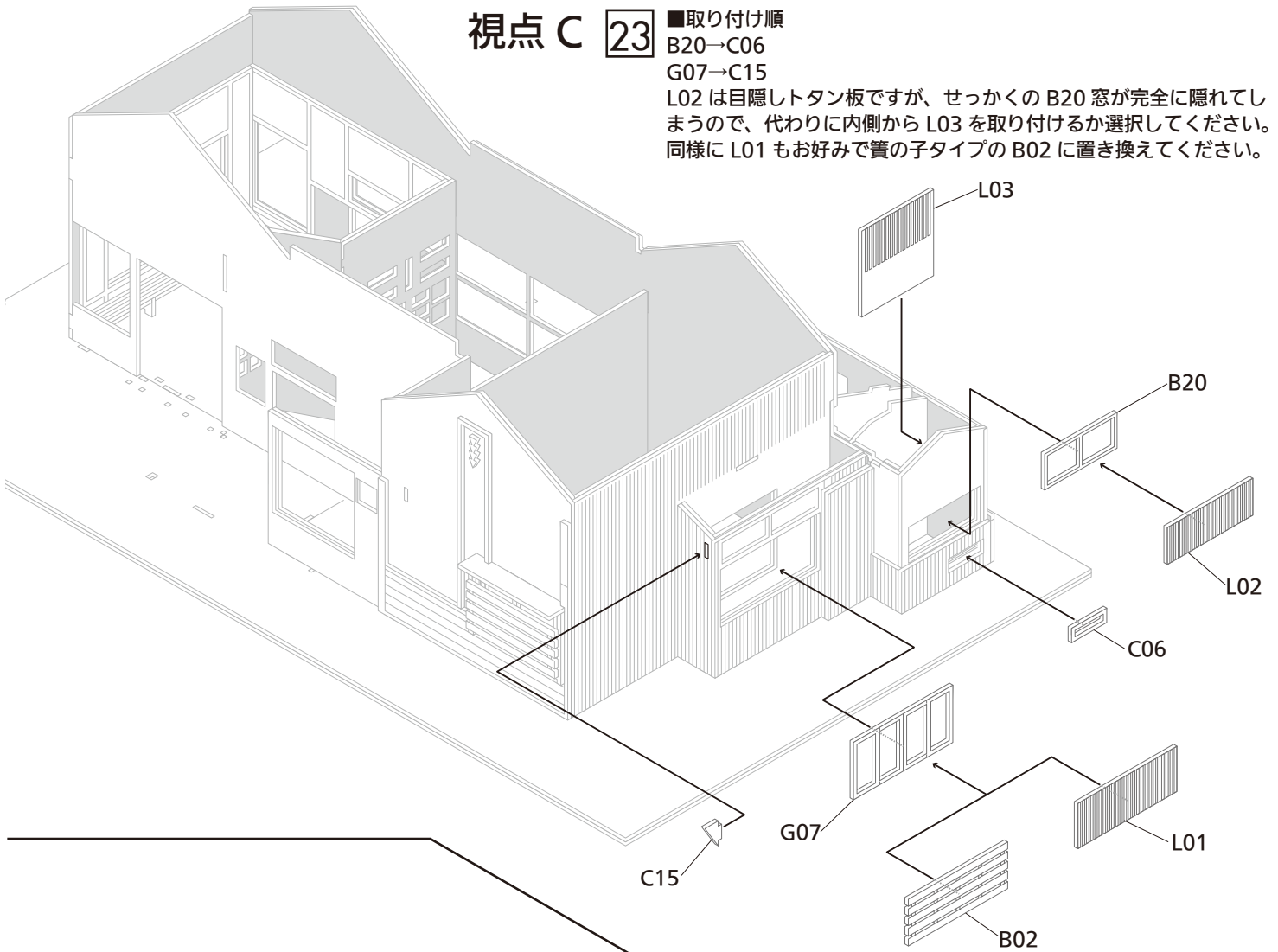
視点 C 23

■取り付け順

B20→C06

G07→C15

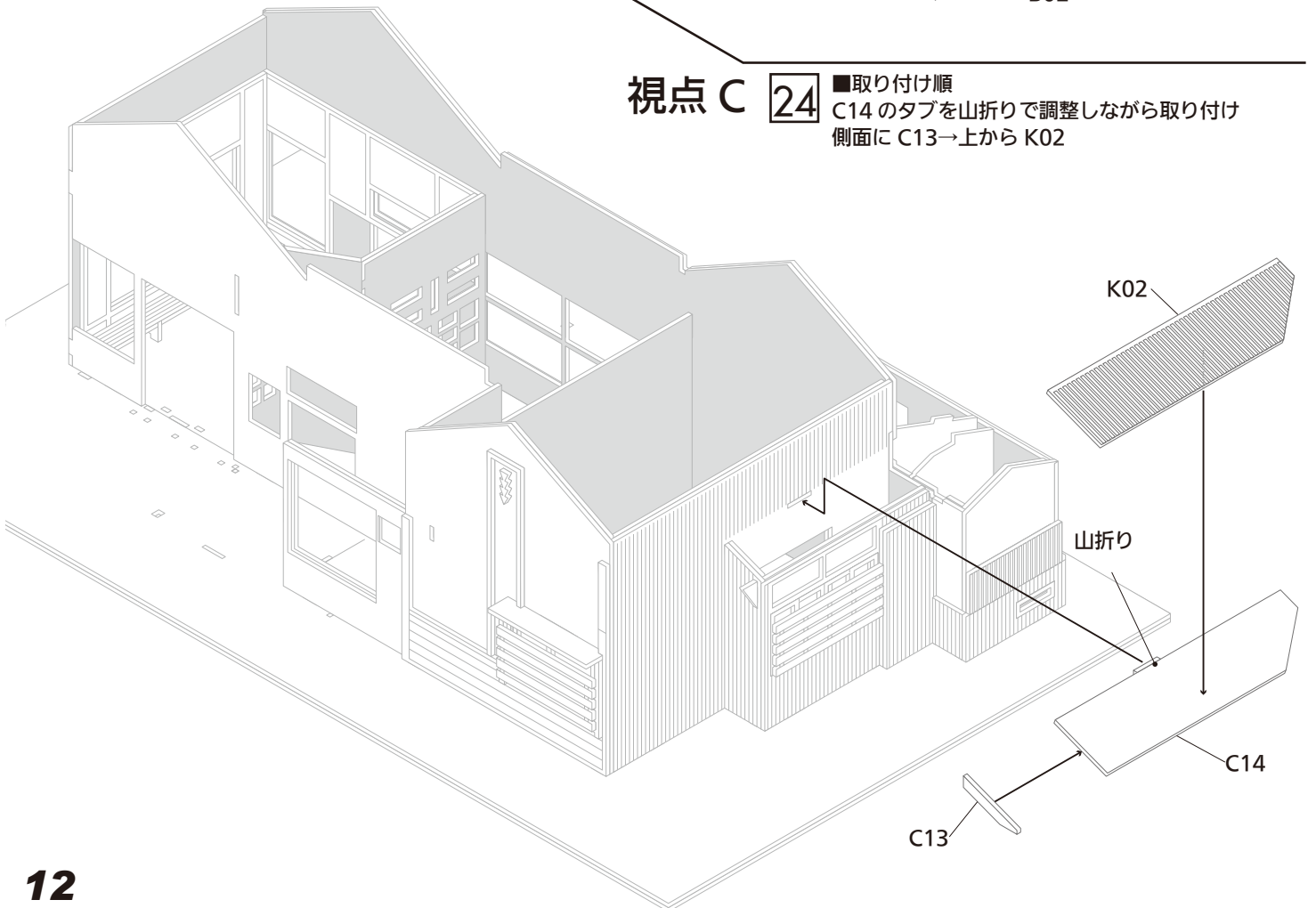
L02 は目隠しタン板ですが、せっかくの B20 窓が完全に隠れてしまうので、代わりに内側から L03 を取り付けるか選択してください。同様に L01 もお好みで箕の子タイプの B02 に置き換えてください。



視点 C 24

■取り付け順

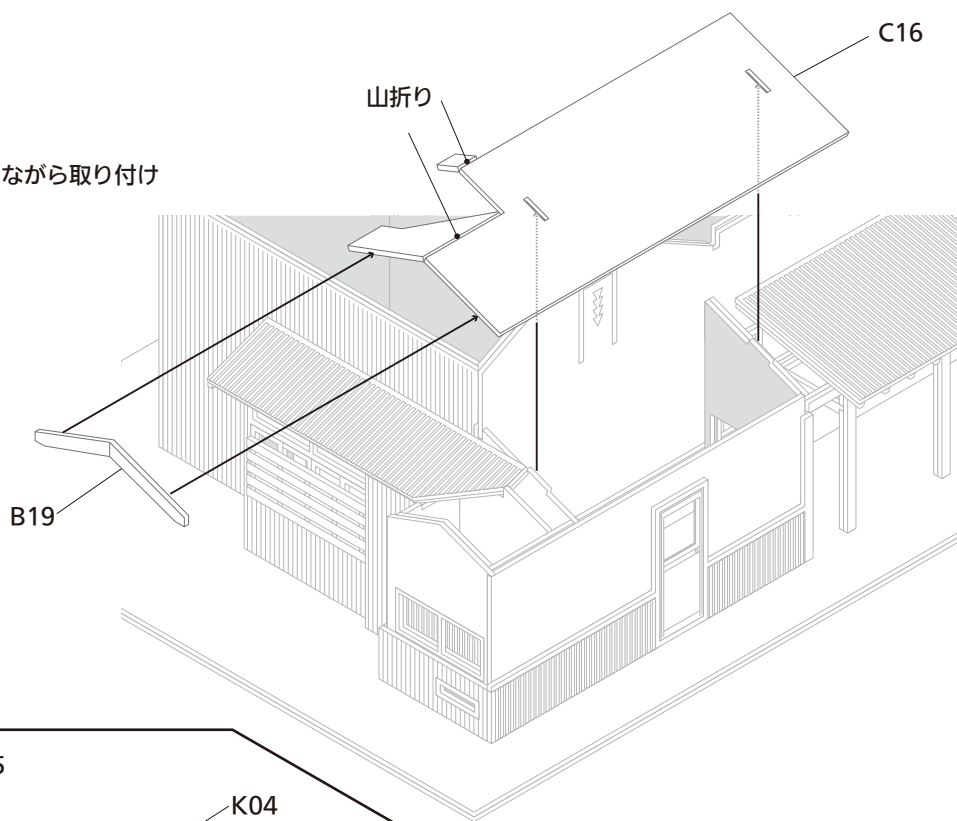
C14 のタブを山折りで調整しながら取り付け
側面に C13→上から K02



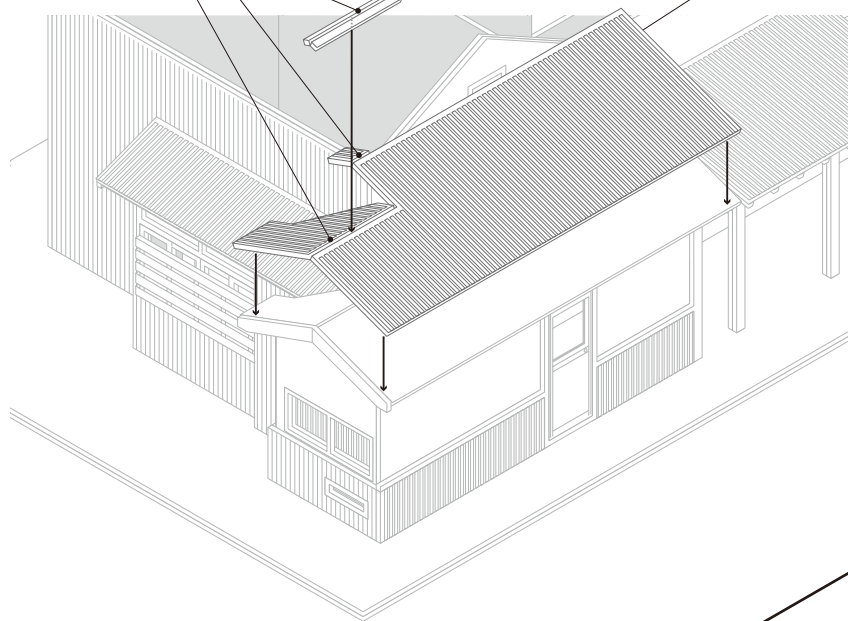
視点 D

25

■取り付け順
C16 を山折りで調整しながら取り付け
側面に B19



山折り K05 K04



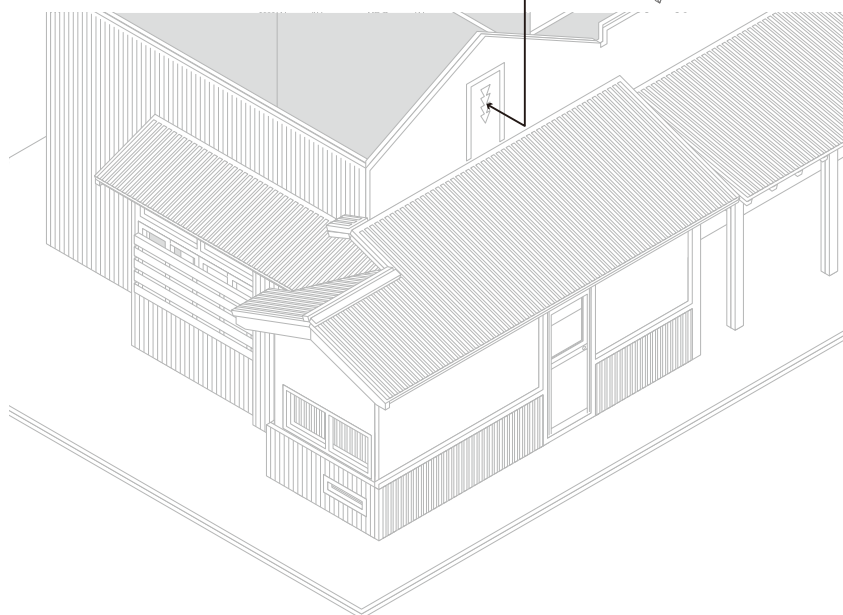
視点 D

26

■取り付け順
前項 C16 の上から
K04 を山折りで調整しながら取り付け
上面に K05 を山折りで調整しながら取り付け

B10

B13



視点 D

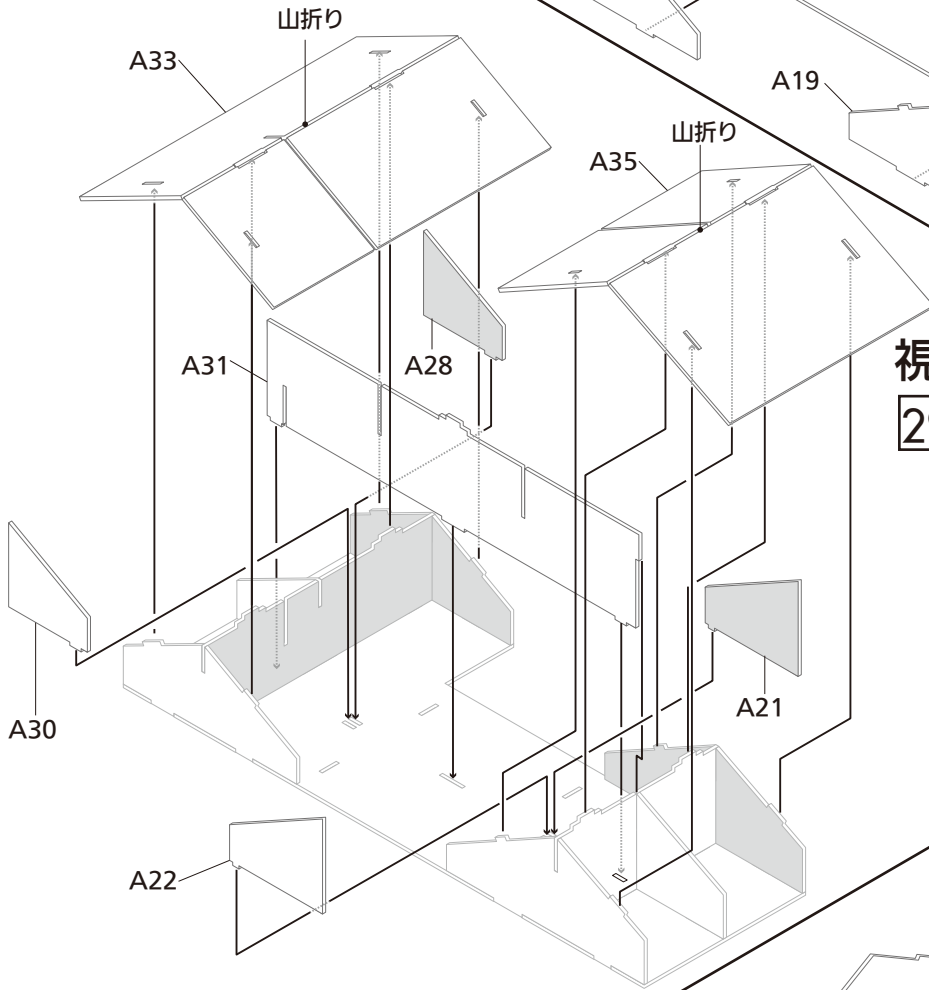
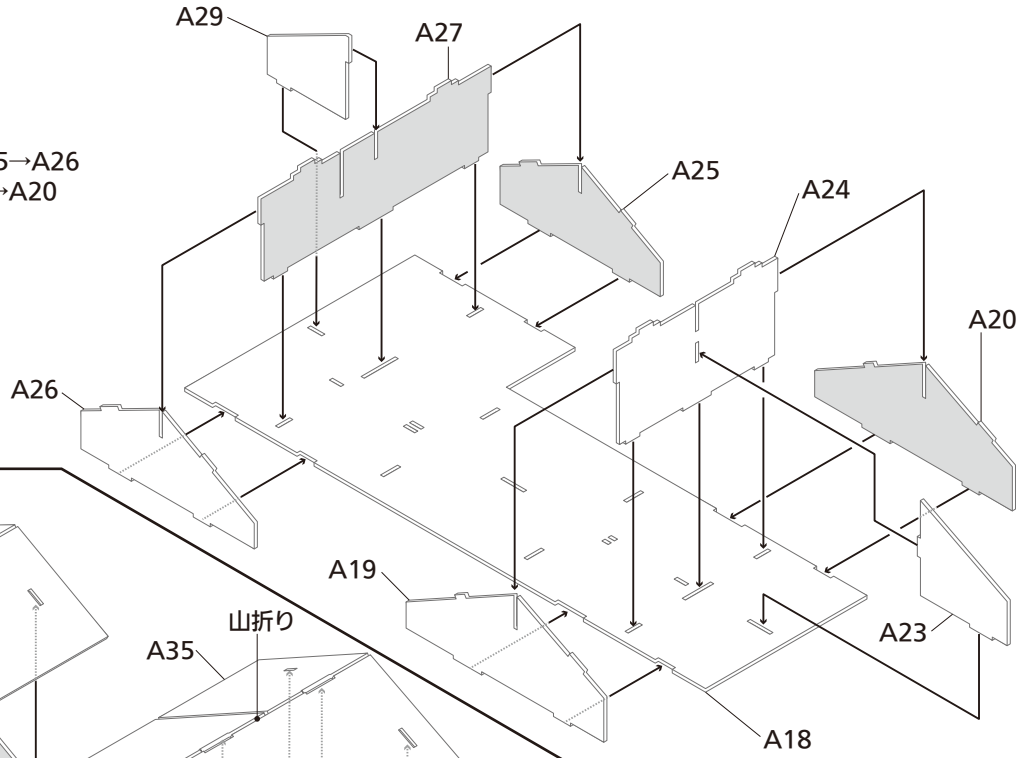
27

■取り付け順
B10→B13

▼ここから視点が変わります▼

視点 A 28

■取り付け順
A18に
→A27→A29→A25→A26
A24→A23→A19→A20

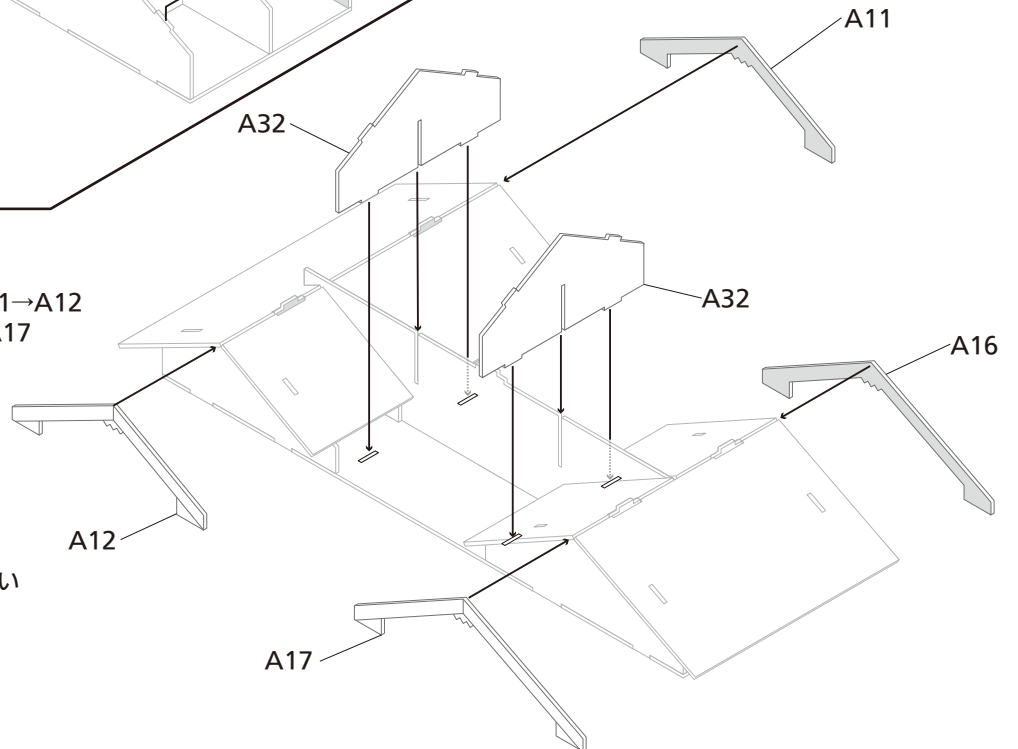


視点 A

29 ■取り付け順
A31→A31 を挟むように A28→A30→A21
→A22 を取り付け、A33、A35 を山折りで
調整しながら取り付け

視点 A 30

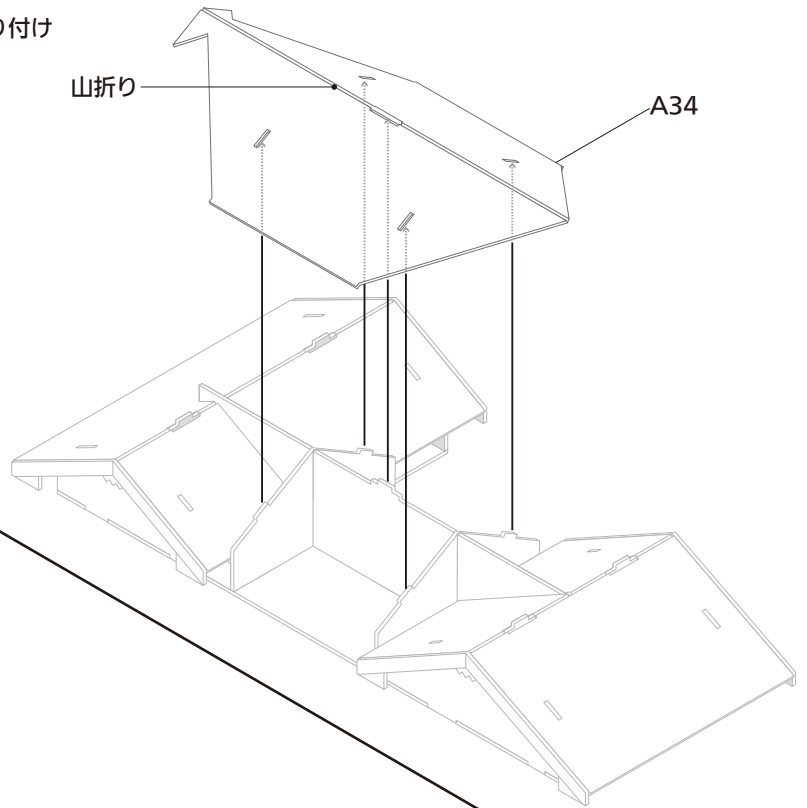
■取り付け順
A32×2
前項 A33 側面に A11→A12
A35 側面に A16→A17



■A11とA12、A16とA17には
角度、向きがあるのでご注意ください

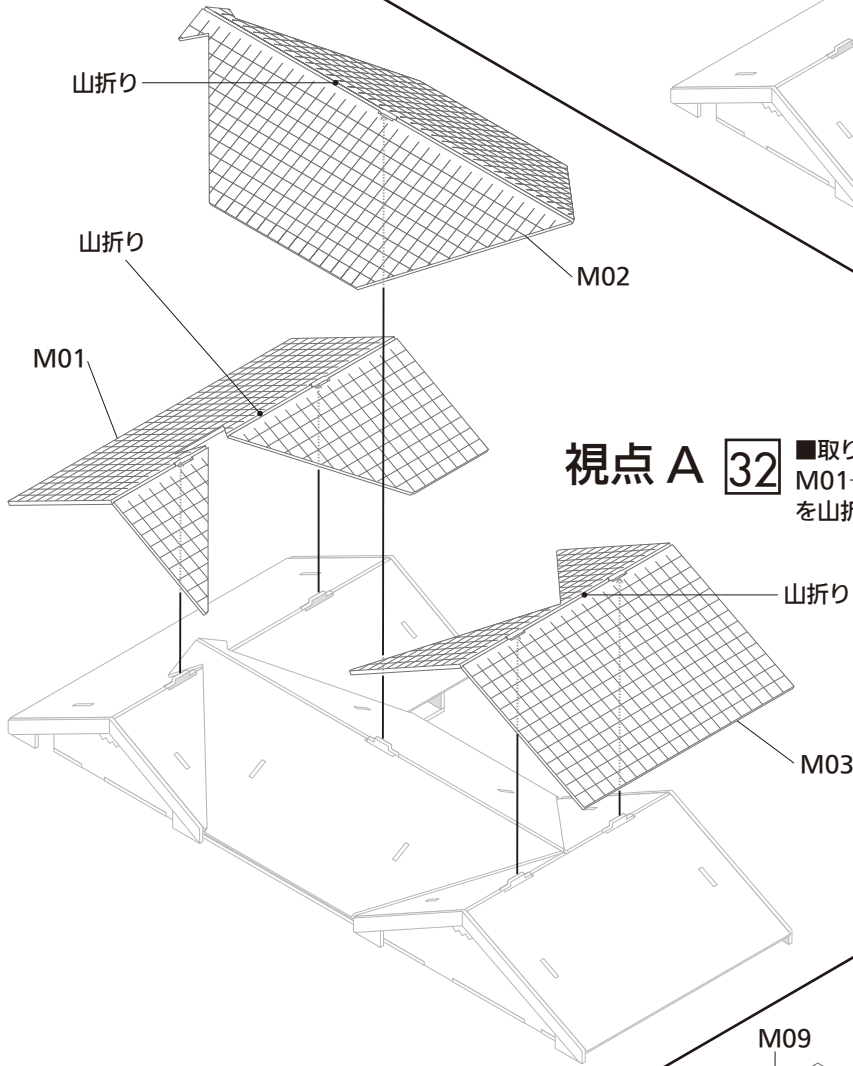
視点 A 31

■取り付け順
A34 を山折りで調整しながらタブに取り付け



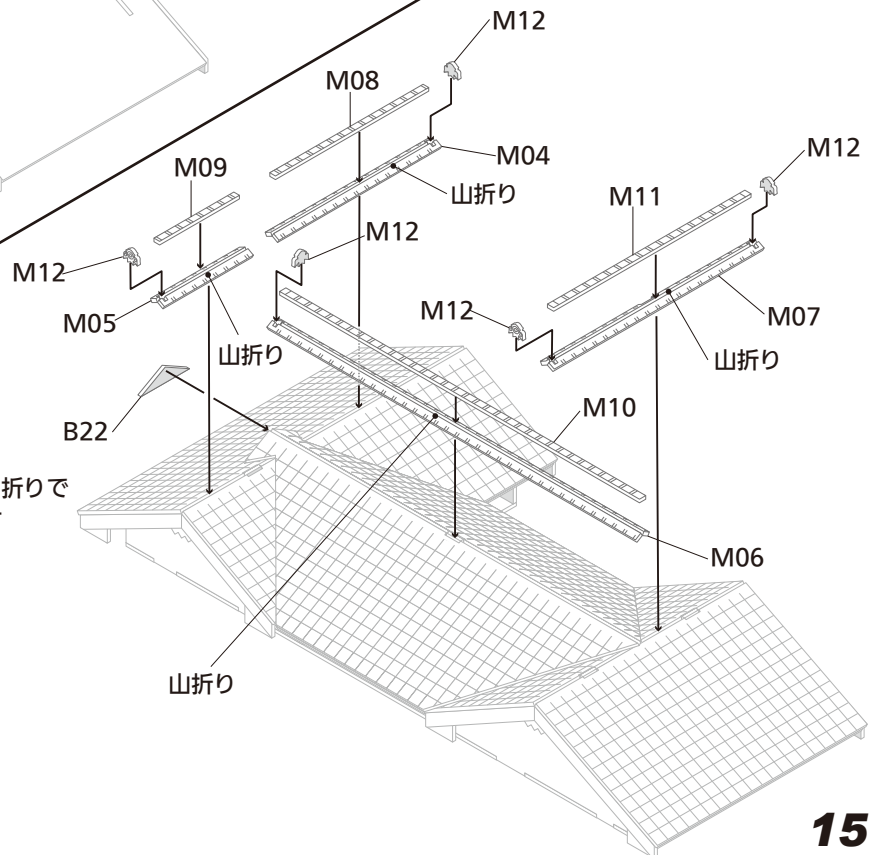
視点 A 32

■取り付け順
M01→M03→M02
を山折りで調整しながらタブに取り付け

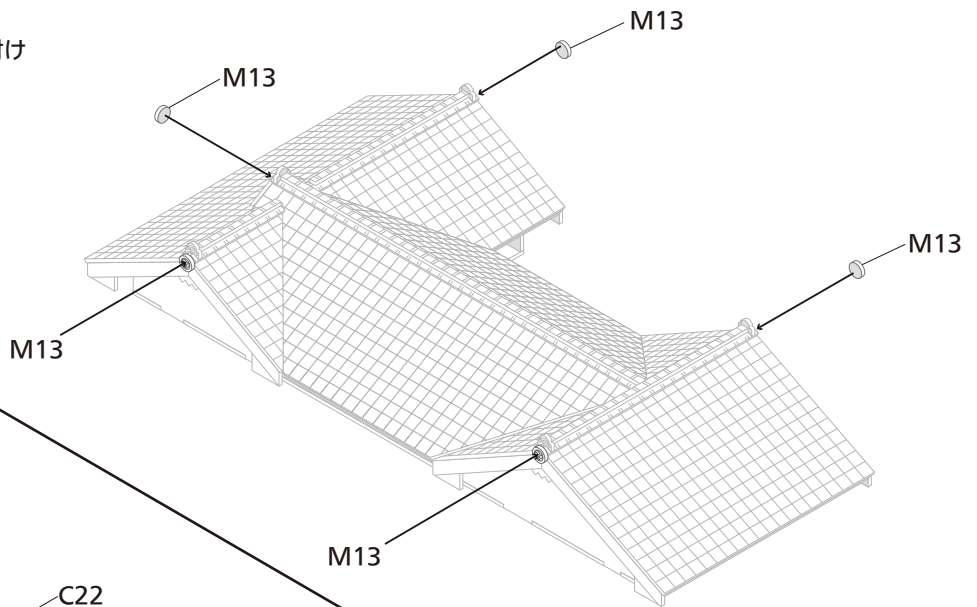


視点 A 33

■取り付け順
B22→
M07→M06→M04→M05 を山折りで
調整しながら屋根頂点に取り付け
→M12×5
→M11→M10→M08→M09



視点 A 34 ■取り付け順
M13×5 を取り付け

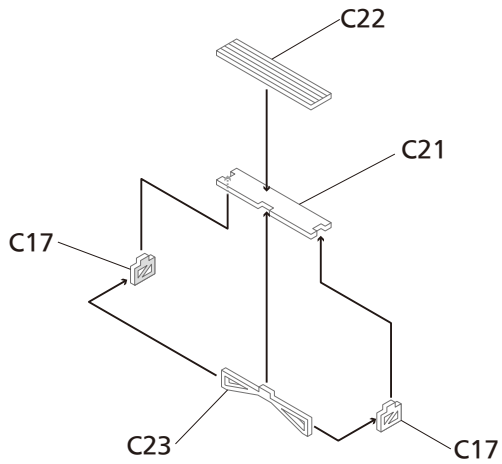


番外

おまけの木製ベンチ

■取り付け順

C21 に C17×2→C23→C22



■年季の入った手作り風ベンチ
以前は待合室内に置かれていましたが、
最近は入口横あたりに置かれて使われているようです。

■完成した屋根部分は接着剤不要で建屋にはめ込みます

